

静岡県御前崎市

文化財年報 XIV

平成 29 年度



2019

御前崎市教育委員会

表紙写真

御前崎市指定有形文化財(建造物)「池宮神社本殿」

静岡県御前崎市

文化財年報 XIV

平成 29 年度

2019

御前崎市教育委員会



写真1 市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」発掘調査完掘後の全景(平成13年度撮影)



写真2 市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」の現状(平成29年度撮影)

静岡県御前崎市

桜ヶ池

さくらがいけ

静岡県指定の名勝

龍神伝説の霊池 桜の名所

御前崎市佐倉地区にある桜ヶ池は、南側以外の三方向を原生林に囲まれた約2万㎡の池です。

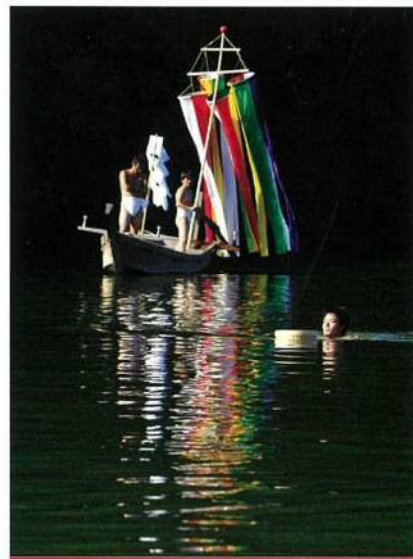
池のほとりにはいにしえからの伝説を祀る池宮神社が建立され、拝殿には徳川慶喜公揮毫の扁額が飾られています。



池宮神社本殿 / 御前崎市指定有形文化財(建造物)



徳川慶喜揮毫の扁額 / 御前崎市指定有形文化財(書跡)



桜ヶ池のお櫓納め / 静岡県指定無形民俗文化財

徳川慶喜公
 揮毫きごうの扁額へんがく、池宮神社に今も



写真1 桜ヶ池・池宮神社の指定文化財パンフレット表紙

序 文

御前崎市は、広大な遠州灘を望む浜岡砂丘、数多くのウミガメが訪れる御前崎海岸、お茶の産地で有名な牧ノ原台地、白亜の灯台など、豊かな自然や風光明媚な環境に恵まれています。

また、縄文時代早期前半の異形局部磨製石器（トロトロ石器）が出土した西原遺跡をはじめ、戦国時代の城館にいたるまで 100 箇所以上の様々な遺跡があります。さらに、古くからの信仰形態を残す桜ヶ池のお櫃納めなどの無形民俗文化財や庶民の厚い信仰によって永く守られてきた仏像や石仏などの有形文化財を各所に見ることができます。

文化財保護行政の役割は、このような先人達が守ってきた自然環境や歴史的文化遺産を保護・保存して後世に伝えていくとともに、より多くの方が当時の文化や歴史に触れ、その多様な価値により豊かな生活を享受できるよう、それらの公開や活用を図っていくことです。そこで平成 29 年度も下記のように文化財保護事業を行いました。つきましては、文化財の所有者や管理者、地域の方々をはじめとした市民の皆様の御理解、御協力に感謝し、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

以下、平成 29 年度に実施した文化財保護事業について報告します。

- 埋蔵文化財確認調査 1 件(ホンジノヤ横穴)
- 埋蔵文化財工事立会 1 件(幡室遺跡)
- 出土遺物整理事業(星の糞遺跡・南谷遺跡)
- 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業
- 県指定名勝「桜ヶ池」祭事用取付台の現状変更
- 県指定名勝「桜ヶ池」遊歩道崩落箇所の現状変更
- 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の損傷及び維持の措置
- 市指定天然記念物「いちょうの木」の樹勢衰退要因等解析調査
- 市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」遊歩道の整備及び看板の新設
- 市指定有形文化財「岩地正八幡神社本殿」の蟻害腐朽検査
- 市立図書館収蔵庫・地域行政資料室収蔵資料の燻蒸処理業務
- 岩地正八幡神社本殿・神像看板新設工事
- 比木賀茂神社社叢遊歩道の整備及び看板の施設
- 比木賀茂神社樹木名盤の購入
- 駒止観音堂誘導看板の取替工事
- 市指定有形文化財「駒形神社本殿」での文化財防火訓練の開催(平成 30 年 1 月 27 日)
- 御前崎市文化財保護審議会視察研修の開催(長野県高森町の女城主直虎ゆかりの地など)
- 埋蔵文化財出張授業(新野未来塾主催「第 4 回森と親しむ!新緑満喫ハイク」)
- 市内イベントにおける原始体験学習ブースの開設(御前崎市大産業まつり)
- 桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレットの作成
- 御前崎市内の指定文化財の神社めぐりの開催
- 歴史民俗資料等の利用・貸出し
- 御前崎のウミガメ産卵観察会の開催
- 御前崎のウミガメ放流観察会の開催

平成 31 年 3 月 31 日

御前崎市教育委員会教育長 河原崎 全

例 言

- 1 本書は、平成 29 年度において御前崎市教育委員会が実施した文化財保護事業についてまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、埋蔵文化財調査・文化財保護・管理・文化財活用啓発活動に区分した。
- 3 平成 29 年度に試掘調査を実施したホンジノヤ横穴所在及び確認調査の報告書を本年報に掲載した。
- 4 発掘調査の体制は、次のとおりである。なお、ホンジノヤ横穴所在及び確認調査については、株式会社四門に掘削業務と測量業務を委託して実施した。

調査主体 御前崎市教育委員会

発掘調査員 村本 薫 発掘作業員 株式会社四門【小谷亮二、原口東海夫、前島和子、松下柱】

- 5 アカウミガメ保護活動の体制は、御前崎市教育委員会からウミガメ保護監視員を委嘱した。

ウミガメ保護監視員 高田 正義（通算 21 年目）
大澤 茂美（通算 17 年目）
良知 正美（通算 11 年目）
鈴木 紀捷（通算 8 年目）
澤部 春市（通算 5 年目）
中田 豊（通算 3 年目）
早山 彰夫（通算 2 年目）
増田 均（通算 1 年目）

- 6 本書の刊行に関する事務は、御前崎市教育委員会社会教育課が行った。

教 育 長 篠田 暁美(平成 29 年 6 月 31 日まで)
河原崎 全(平成 30 年 4 月 1 日から)
教育長職務執行者 吉村 勝(平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)
教 育 部 長 伊村 衛(平成 30 年 3 月 31 日まで)
長尾 智生(平成 30 年 4 月 1 日から)
社会教育課長 鈴木 弘康(平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
芸 術 文 化 係 石川 由樹(平成 30 年 3 月 31 日まで)
村本 薫
増田 泰司(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
松井 佳穂

- 7 本書の執筆は文化財担当が分担して行い、編集を村本が行った。執筆分担は以下のとおりである。

I 埋蔵文化財調査 1～3 村本 薫
II 文化財保護・管理 1 増田泰司・松井佳穂 2～11 村本 薫
III 文化財活用啓蒙活動 1～7 村本 薫
IV 指定文化財一覧表 V 文化財関係刊行図書一覧 村本 薫

- 8 本書に収録した実測図、写真及び出土遺物はすべて御前崎市教育委員会が保管している。

目 次

巻頭図版

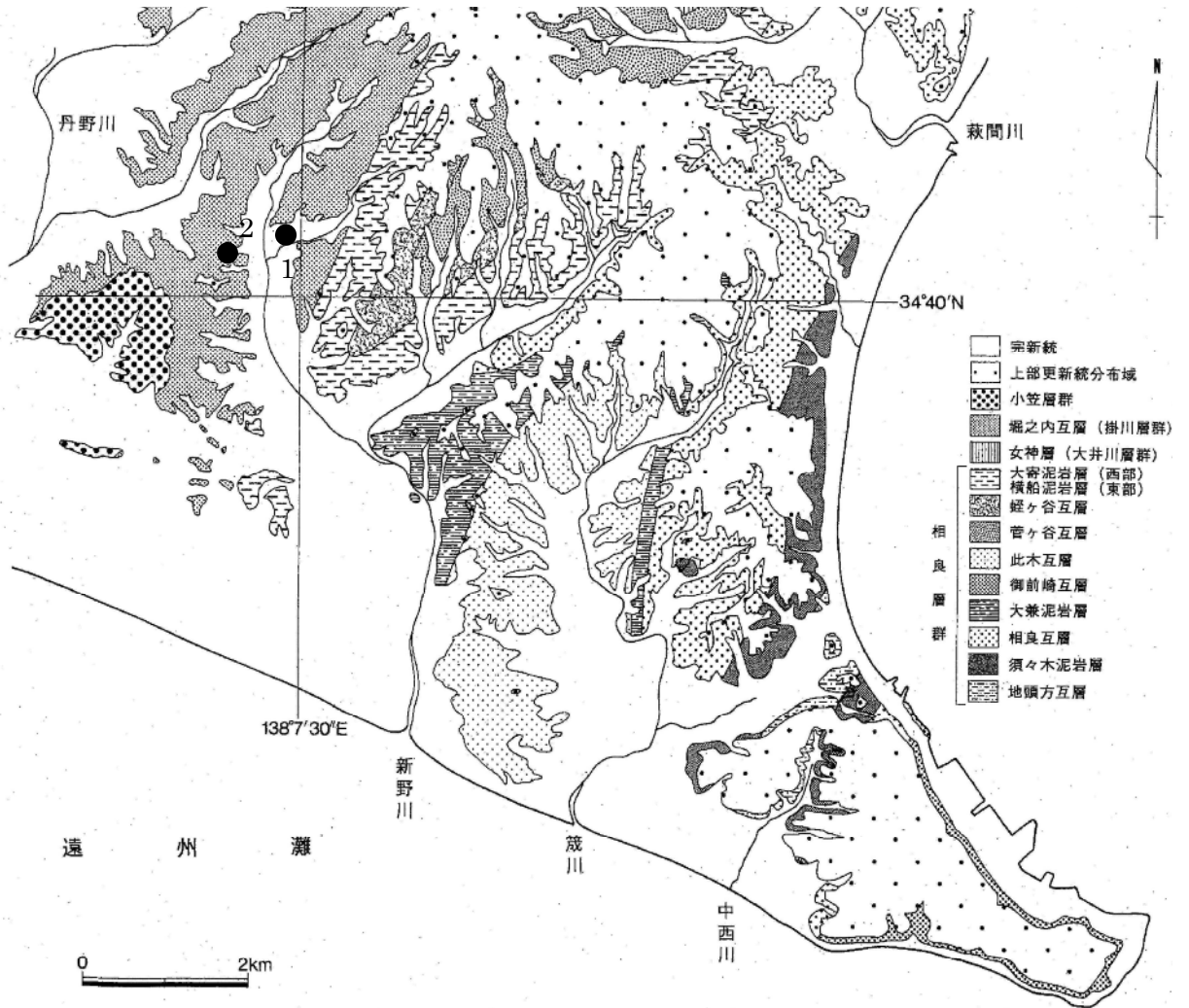
序 文

例 言

目 次

I	埋蔵文化財調査	1
1	市内遺跡試掘調査・工事立会の概要	1
2	ホンジノヤ横穴所在及び確認調査報告書	2
3	出土遺物整理事業	13
II	文化財保護・管理	14
1	国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業	14
2	県指定名勝「桜ヶ池」祭事用取付台の現状変更	47
3	県指定名勝「桜ヶ池」遊歩道崩落箇所現状変更	48
4	県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の損傷及び維持の措置	50
5	市指定天然記念物「いちょうの木」の樹勢衰退要因等解析調査	52
6	市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」遊歩道の整備及び看板の新設	59
7	市指定有形文化財「岩地正八幡神社本殿」の蟻害腐朽検査	61
8	市立図書館の収蔵庫・地域行政資料室収蔵資料燻蒸処理業務	65
9	文化財看板の新設・修繕工事等	67
10	文化財防火デー	69
11	御前崎市文化財保護審議会	70
III	文化財活用・啓発活動	72
1	埋蔵文化財出張授業	72
2	市内イベントにおける埋蔵文化財体験学習ブースの開設	72
3	桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレットの作成	73
4	御前崎市内の指定文化財の神社めぐりの開催	74
5	写真資料の利用	75
6	歴史民俗資料等の特別利用	76
7	歴史民俗資料等の貸出	76
IV	指定文化財一覧	78
V	文化財関係刊行図書一覧	79

御前崎市の地形と調査・工事立会遺跡の位置



埋蔵文化財試掘調査・工事立会箇所一覧

1 幡室遺跡

2 ホンジノヤ横穴群

I 埋蔵文化財調査

1 市内遺跡試掘調査・工事立会の概要

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)及びその周辺地において、駐車場造成工事や個人住宅建替工事等の開発事業に伴い、埋蔵文化財の所在の有無等を確認するため、所在及び確認調査・工事立会を実施した。

所在及び確認調査は、現地を詳細に踏査するとともに横穴が所在していそうな箇所にトレンチを設定し、遺物や遺構の所在の有無や土層断面などを確認した。今年度は下表に示す、1件の確認調査と1件の工事立会を実施した。

第1表 平成29年度 市内遺跡確認調査・工事立会実施遺跡一覧表

No.	遺跡名	調査地	調査原因	事業主体	実施時期	面積/概要	備考
1	ホンジノヤ横穴	御前崎市 新野字中尾 1631-2、 1631-4、 1631-5	保存目的の 所在及び確 認調査	御前崎市	H30.3.5～ H30.3.31	試掘調査 22.5㎡ (試掘坑5カ所) 横穴1基発見	H30.8.28 周知の埋蔵 文化財包蔵 地に新規登 録される
2	幡室遺跡	御前崎市 新野字大明 神	個人住宅新 築工事	個人	H29.4.26～ H29.7.30	工事立会 370㎡ 遺構・遺物未発見	



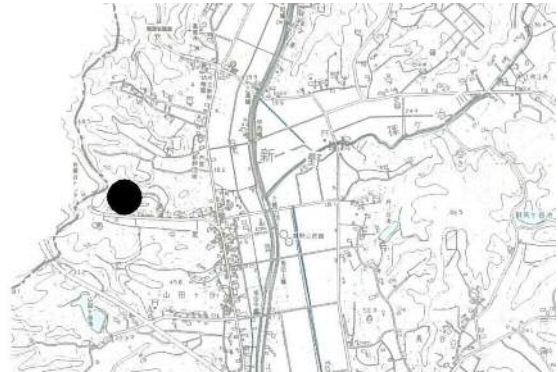
写真1 幡室遺跡工事立会



写真2 幡室遺跡工事立会

ホンジノヤ横穴所在及び範囲確認調査報告書

所在地 御前崎市新野字中尾 1631-2、
1631-4、1631-5 の一部
調査主体者 御前崎市教育委員会
調査担当者 社会教育課 村本 薫
調査面積 2.5 m²(トレンチ5箇所)
確認調査期間 平成30年3月5日～
平成30年3月31日
調査目的 横穴の所在及び範囲確認調査



第1図 遺跡の位置(1/25,000)

(1) 調査に至る経緯

ホンジノヤ横穴は、今回の所在及び範囲確認調査により新たに発見された遺跡である。発見の経緯は、土地所有者の下島進一氏がホンジノヤに横穴らしい痕跡があるので、発掘調査をしてほしいと御前崎市教育委員会社会教育課の文化財保護担当者に話をしたことに端を発する。

そして平成28年度に現地を踏査したところ、横穴が存在している可能性がある南又は東側に面した丘陵の斜面にそれらしき痕跡が認められた。そのため、横穴の所在及び範囲確認調査を実施する必要があると判断し、平成29年度の予算にその調査費を計上した。

平成30年2月7日に所有者の承諾を得たことから、平成30年2月27日付御教社第221号で、御前崎市教育委員会教育長職務執行者 吉村勝より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法99条の1に基づく「発掘調査について」を送付した。

その後、掘削業務と測量業務の委託や仮設の機材置き場及びトイレ等の手配を行い、3月5日から横穴の所在及び範囲確認調査に着手した。

(2) 位置と環境

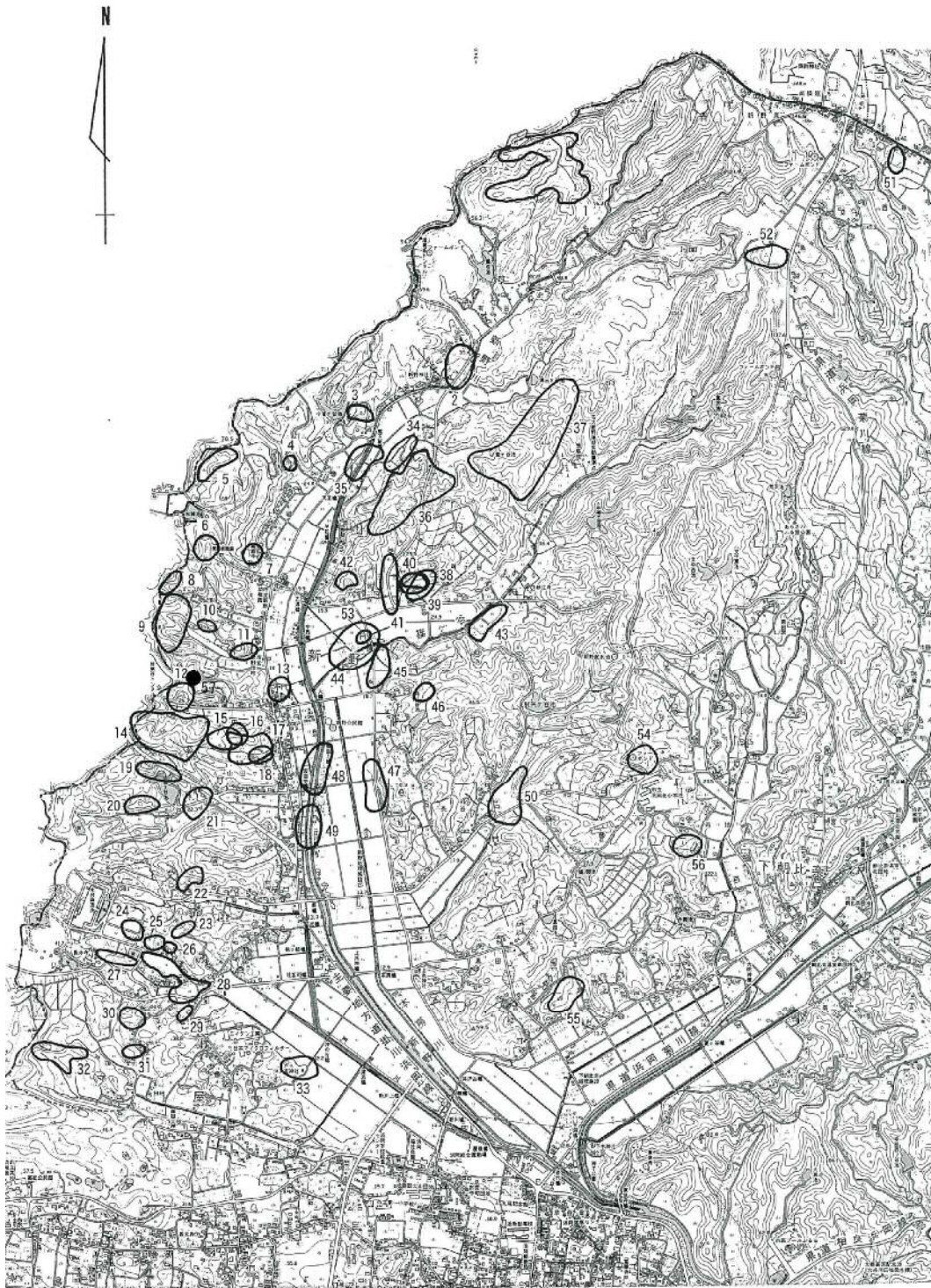
ホンジノヤ横穴(57)は牧ノ原台地の南端を開析して南流する新野川の中流域右岸に位置する沖積地にある遺跡である。

ホンジノヤという地名は、近くにある舟ヶ谷城山(36)に由来していると思われ、城郭の研究者であった鈴木東洋氏は、ホンジノヤとは本陣の谷であったのではないかと推測している。

新野川中流域の本遺跡周辺には、古墳時代後期から鎌倉時代の遺物が出土している新野川北・南遺跡(48・49)や篠ヶ谷遺跡(39)、篠ヶ谷ヒラシロ遺跡(43)、幡室遺跡(44)、十二僧御用田遺跡(47)などの遺物散布地や集落跡が分布している。

また、新野川流域には中尾横穴群(15)、殿ノ平横穴群(42)などの横穴が34群76基以上の横穴が存在している。

さらに、造り出し付円墳である幡室古墳(53)や大型古墳である天ヶ谷古墳(8)などの古墳も確認されている。



第2図 ホンジノヤ横穴周辺遺跡分布図

第2表 周辺遺跡分布図

通番	遺跡名	種別	地区	時代	備考	通番	遺跡名	種別	地区	時代	備考
1	塩買坂陣場	城館跡	新野	戦国		30	南谷北横穴群	横穴	門屋	奈良	1群5基
2	有ヶ谷遺跡	散布地	新野	古墳～中世(鎌倉)		31	南谷南横穴	横穴	門屋	古墳	1基
3	小雀ヶ谷横穴群	横穴	新野	古墳	基数不明	32	猿田ヶ谷横穴群	横穴	門屋	古墳	2群4基
4	宮田横穴群	横穴	新野	古墳	1基開口	33	沖ノ宮遺跡	散布地	門屋	古墳～鎌倉	
5	山西横穴群	横穴	新野	古墳	1群2基	34	有ヶ谷墳墓群	その他の墓	新野	中世	
6	竜源寺跡	その他の遺跡	新野	戦国		35	天王神社東遺跡	散布地	新野	古墳・平安・中世	
7	新野氏墓地	その他の墓	新野	中世		36	舟ヶ谷城山	城館跡	新野	中世	
8	天ヶ谷古墳	古墳	新野	古墳	大型円墳	37	八幡平城跡	城館跡	新野	中世	
9	高橋城跡	城館跡	新野	中世		38	篠ヶ谷東墓地	墓地	新野	中世	
10	西ノ谷西横穴群	横穴	新野	古墳～奈良	1群4基	39	篠ヶ谷遺跡	散布地	新野	古墳・奈良・中世	
11	西ノ谷東横穴群	横穴	新野	古墳	1基	40	舟ヶ谷横穴群	横穴	新野	古墳	1群2基
12	中西横穴群	横穴	新野	古墳	3群10基	41	篠ヶ谷西墓地	墓地	新野	中世	石塔群有
13	中尾八幡遺跡	散布地	新野	縄文・古墳・奈良		42	殿ノ平横穴群	横穴	新野	古墳	2群3基
14	釜原城跡	城館跡	新野	中世		43	篠ヶ谷ヒラシロ遺跡	散布地	新野	古墳・中世(鎌倉)	
15	中尾横穴群	横穴	新野	古墳	1群3基	44	幡室遺跡	集落跡	新野	弥生～中世(鎌倉)	
16	釜原墓地	その他の墓	新野	中世		45	政所遺跡	散布地	新野	平安	
17	中尾殿之谷遺跡	散布地	新野	平安・中世(鎌倉)		46	長ヶ谷横穴群	横穴	新野	古墳	1群4基
18	中尾殿之谷横穴群	横穴	新野	古墳	1群7基	47	十二僧御用田遺跡	散布地	新野	古墳・奈良・中世	
19	山田ヶ谷北横穴群	横穴	新野	古墳	2基	48	新野川北遺跡	散布地	新野	古墳～中世(鎌倉)	
20	山田ヶ谷南横穴群	横穴	新野	古墳	2群3基	49	新野川南遺跡	散布地	新野	古墳～中世(鎌倉)	
21	山田ヶ谷遺跡	散布地	新野	弥生・奈良		50	長ヶ谷遺跡	散布地	新野	中世(鎌倉)	
22	木ヶ谷横穴群	横穴	新野	古墳	2群4基	51	西原遺跡	散布地	新野		
23	新井坂横穴群	横穴	門屋	古墳	1群2基	52	新野原遺跡	散布地	新野	縄文	
24	蓮前横穴群	横穴	門屋	奈良	2群6基	53	幡室古墳	古墳	新野	古墳	円墳1基
25	北田西横穴群	横穴	門屋	古墳	2群4基	54	ホンジノヤ横穴群	横穴	新野	古墳	
26	北田東横穴	横穴	門屋	古墳	1基	55	大谷遺跡	散布地	下朝比奈	縄文	
27	石田横穴群	横穴	門屋	古墳～奈良	1群2基	56	西平横穴群	横穴	下朝比奈	古墳	基数不明
28	北田遺跡	散布地	門屋	弥生～奈良・中世		57	ホンジノヤ横穴	横穴	新野	古墳	1基
29	新井平横穴群	横穴	門屋	古墳～奈良	2群6基						

(3) 調査概要

① 調査方法

ホンジノヤ横穴の所在及び範囲確認調査は、最初に地表面での横穴の所在の有無を確認するために、特に横穴の存在が予想される丘陵の南側や東側斜面の現地踏査を実施した。岩盤の岩肌が削られているような箇所については、ピンポールなどを利用して未開口の横穴の存在を確認した。

そして、地形や穴が開口していることから横穴の所在が推測される5箇所について、2m幅位のトレンチを設定して山肌の表土を削って岩盤を露出させる確認調査を実施した。トレンチについては、掘削終了後完掘状況と土層断面の写真撮影を行った。

5箇所設定したトレンチの内、東向き斜面の1箇所から横穴が確認されたことから第1号横穴と呼称することとした。第1号横穴については、中央線を設定して墓前域の南側半分を掘削した。玄室部分については、天井の横断面や縦断面が計測できるまで覆土を掘削した。発掘作業終了後精査を行い、横穴内部や開口部、墓前域の写真撮影を行った。その後、横穴の中心軸を設定し、玄室及び墓前域の平面図や横断面図などをできる範囲で計測し、10分の1縮尺で略測図を作成した。墓前域については、土層断面図を作成した。

その後、トレンチや第1号横穴の配置図を作成し、業者に委託してトレンチの平面図や第1号横穴の

基準点測量等を実施した。その後、人力により埋め戻しを行い、器材等を撤収して確認調査を終了した。

② 調査経過(平成 30 年)

3月12日 最初に想慈院の住職による供養の後に、横穴の所在及び確認調査に着手した。最初に現地踏査を行い、トレンチ1を設定した。トレンチ1の調査前の写真撮影を行った後、トレンチ1に機材等を搬入するための搬入路の造成を行った。そして、午後からトレンチ1の西側半分の掘削作業に着手した。

3月13日 トレンチ1の東側部分を一部拡張して掘削を行ったが、横穴は検出されなかった。トレンチ1の完掘後、完掘状況の写真撮影を行った。

丘陵の東向き斜面にわずかに穴があいている部分が現地踏査で確認されたが、樹木が繁茂しており、そこに伐採した樹木の丸太が倒れていることから、所有者の御協力を得て、チェーンソーを使用して丸太を切断や周辺の樹木を伐採などの作業を行った。

3月14日 第1号横穴の墓前域北側の掘削作業に着手。

3月15日 第1号横穴の墓前域北側の掘削作業を実施。

3月19日 第1号横穴の墓前域北側の掘削作業の続きを実施。

3月22日 第1号横穴の墓前域北側の清掃後、写真撮影を実施。墓前域の土層断面図作成と横穴羨部土層断面の実測。玄室内部覆土の発掘作業。

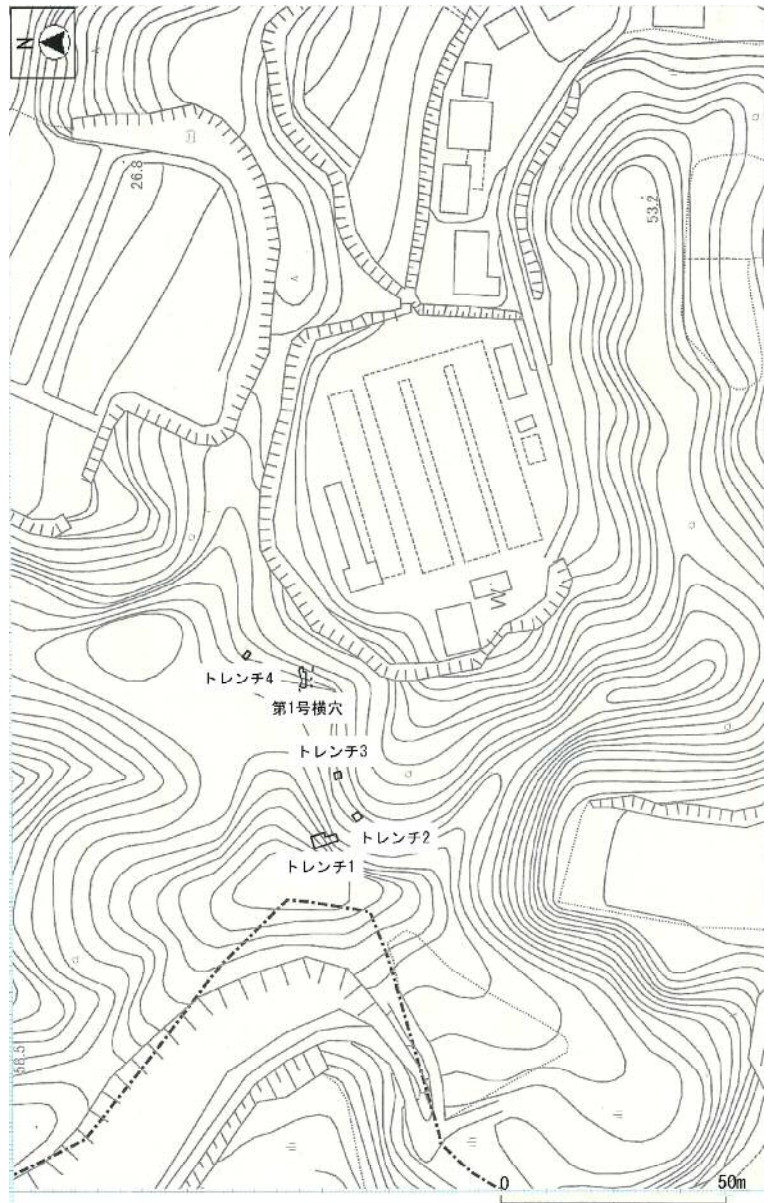
3月23日 第1号横穴の玄室内部覆土上部の発掘作業完了。

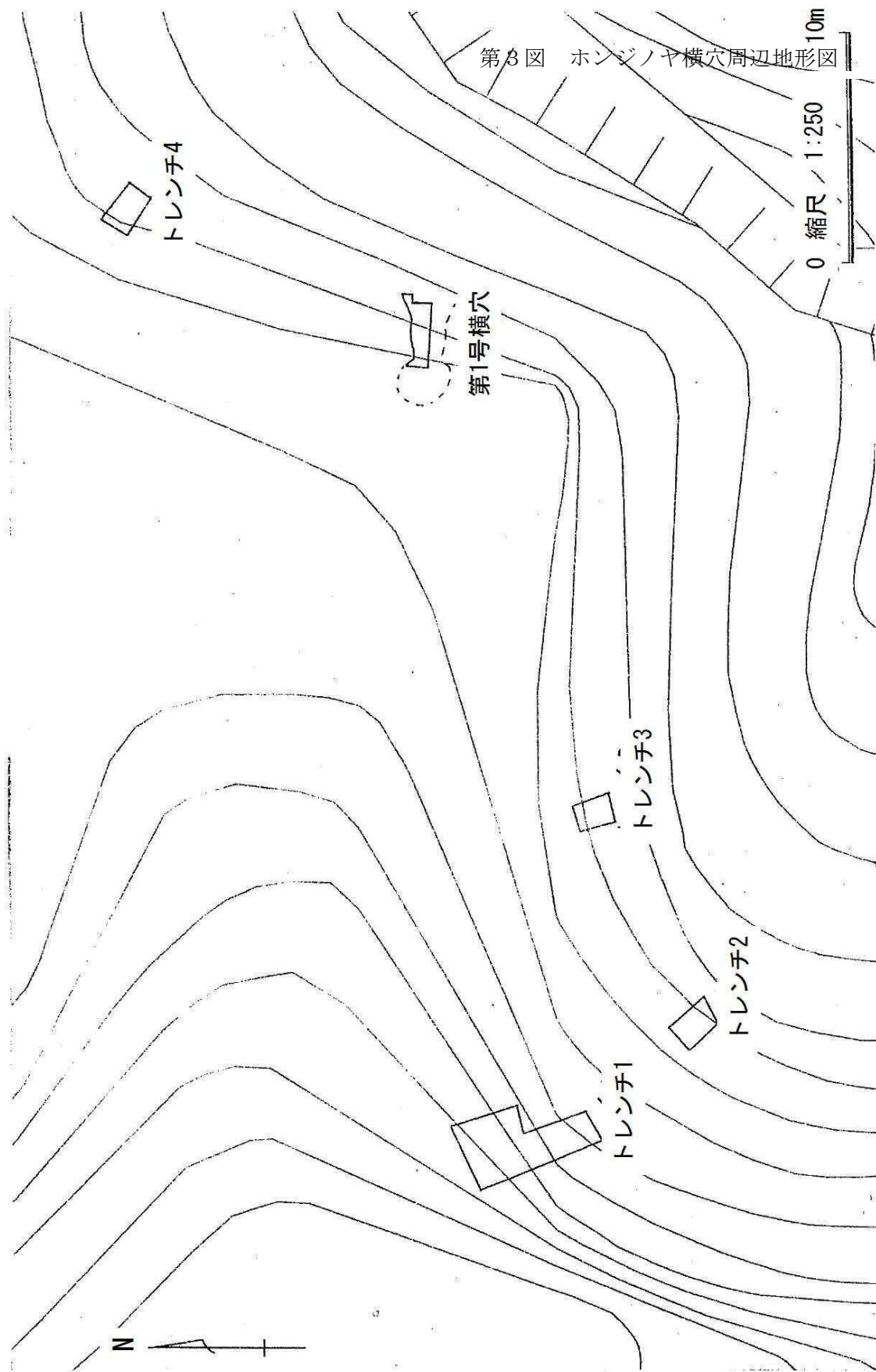
玄室内部や墓前域の清掃後、写真撮影。横穴内部及び墓前域の平面図や断面図の実測作業。

3月24日 第1号横穴墓前域の実測作業完了。トレンチ4の掘削作業及び完掘状況の写真撮影。トレンチ3の発掘作業。

3月26日 トレンチ3の精査を行い、完掘状況の写真撮影を実施。トレンチ4の調査前の写真撮影。業者による第1号横穴及びトレンチ1～トレンチ4の測量。

3月27日 トレンチ2の完掘及び写真撮影。第1号横穴墓前域及びトレンチ1～4の埋め戻し作業。道具の撤収及び運搬。





第4図 第1号横穴及びトレンチ配置図

③ 横穴の所在及び範囲確認調査の結果

トレンチ 1

踏査の結果、ホンジノヤの丘陵の頂上近くの南向き斜面において、山肌の一部に岩盤が露出している箇所が認められたことから、幅 1.5m～3.0m、長さ 5.8m の範囲にわたってトレンチを設定し、山肌を削り岩盤を露出させ、埋没している横穴の所在の有無を確認したが、新たな横穴は発見されなかった。

トレンチ 2

踏査の結果、トレンチ 1 下方のホンジノヤの丘陵南向き斜面の中腹において、山肌の一部に岩盤が露出している箇所が認められたことから、幅 1.3m、長さ 2.0m の範囲にわたってトレンチを設定し、山肌を削り岩盤を露出させ、埋没している横穴の所在の有無を確認したが、新たな横穴は発見されなかった。

トレンチ 3

踏査の結果、トレンチ 2 東側のホンジノヤの丘陵南向き斜面の中腹において、山肌の一部に岩盤が露出している箇所が認められたことから、幅 1.3m、長さ 2.0m の範囲にわたってトレンチを設定し、山肌を削り岩盤を露出させ、埋没している横穴の所在の有無を確認したが、新たな横穴は発見されなかった。

トレンチ 4

踏査の結果、第 1 号横穴北側のホンジノヤの丘陵南向き斜面の中腹において、山肌の一部に岩盤が露出している箇所が認められたことから、幅 1.3m、長さ 2.0m の範囲にわたってトレンチを設定し、山肌を削り岩盤を露出させ、埋没している横穴の所在の有無を確認したが、新たな横穴は発見されなかった。

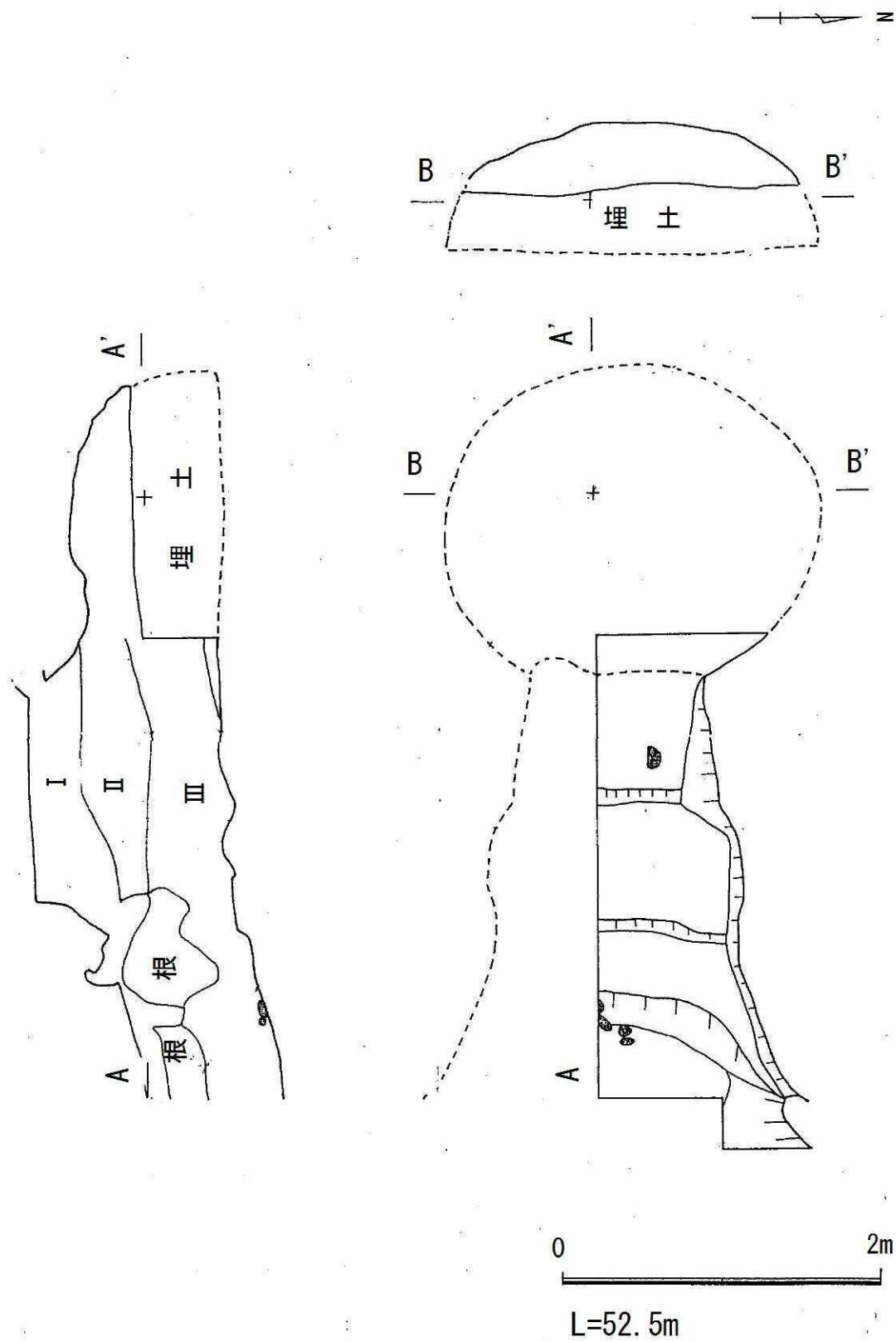
④ ホンジノヤ横穴第 1 号横穴の構造

この第 1 号横穴は確認調査の結果、1 基のみ確認された横穴である。羨門部の標高は 52.0m を測る。主軸方向は N-90° -W である。

今回の調査は、確認調査のため、第 1 号横穴は、中央線を設定して墓前域の南側半分を掘削した。玄室部分については、天井の横断面や縦断面が計測できるまで上部のわずかに覆土を掘削した。

玄室の平面形は円形と思われ、完掘していないため、計測値は推定である。推定玄室幅は推定 2.35m を測り、推定全長 4.58m、推定天井高 1.20m、推定玄室奥行 2.40m、推定玄門部幅 1.10m、玄門部高 1.10m を測る。玄室内の横断面はドーム状を呈する。

羨門部から先は緩やかな傾斜になっており、墓前域の玄門側から 2 段目の段差の先は急傾斜となる。墓前域部分の土層断面は、Ⅰ層が表土で、黒褐色を呈し、木や竹、草の根が多量に混入し柔らかくもろい。Ⅱ層は暗褐色土層で、木や草の根が少量混入する。Ⅲ層は、褐色土層で堅くしまりがある。掘削した墓前域北側の土層断面付近から 4 点の人の幼児のこぶし大の礫が検出された。また、玄門部近くからも大人のこぶし大の礫が 1 点検出されている。しかし、墓前域の掘削した部分から遺物は出土していない。



第5図 ホンジノヤ横穴群第1号横穴略測図

⑤ まとめ

ホンジノヤ横穴第1号横穴は、平成30年3月5日から3月31日にかけて実施した横穴の所在及び範囲確認調査ではじめて発見された横穴である。

横穴の所在を確認するために5箇所設定したトレンチの内、以前から丘陵の斜面にわずかに穴があいていた箇所から第1号横穴が検出された。

出土遺物はまったくなかったが、以下のような特徴から古墳時代の横穴と判断した。

- ◎ 羨道部の入口が上部までほとんど埋まっており、土層を見ると今の地表面とは異なる土層が検出され、墓前域として造成されたと考えられる土層が見られること。
- ◎ 横穴内部の加工痕跡が、古墳時代の横穴の加工痕と類似していること。
- ◎ 現代の穴なら、入口の幅がもっと広いはずだが、羨道部が比較的狭いため古墳時代の横穴に類似していること。

今回の確認調査では第1号横穴の北側には、丘陵が崩れてたまった土砂が厚く堆積していたため、ほかの横穴の存在は確認できなかったが、さらに数基の横穴が存在している可能性があると思われる。それは、ホンジノヤ横穴の西側に隣接している中西横穴群に3群10基と多くの横穴が存在していることや、新野川流域の横穴が2基1対を基本として構築されていることが多いことなどから推測される。

今回確認されたホンジノヤ横穴1号横穴の年代としては、出土遺物がないことから確実な年代については不明であるが、同じ新野地区にある西ノ谷横穴群第2号墳から玄室の平面形が円形の横穴が確認されている。西ノ谷横穴群第2号墳からは、古墳時代後期(7世紀中葉)の須恵器が8点出土している。西ノ谷横穴群は、4基とも古墳時代後期(7世紀中葉)の須恵器が出土しており、この時期に一斉に構築されたものと推測されている。このことから、ホンジノヤ横穴第1号横穴についても、古墳時代後期の7世紀代に構築されたのではなかろうか。

このホンジノヤ横穴が確認されたように、新野川流域には今まで確認されていない未確認の横穴が他にも存在している可能性がさらに高まったといえる。これからも新野地区の横穴や横穴を構築した人々が住んでいた集落遺跡の確認調査を今後も継続して実施していきたい。



1 トレンチ1確認調査風景



2 トレンチ1完掘状況

写真3 ホンジノヤ横穴所在及び範囲確認調査写真1



1 トレンチ 2 確認調査風景



2 トレンチ 2 完掘状況



3 トレンチ 3 確認調査風景



4 トレンチ 3 完掘状況



5 トレンチ 4 確認調査風景



6 トレンチ 4 完掘状況

写真 4 ホンジノヤ横穴所在及び範囲確認調査写真 2



1 1号横穴の発見時の様子



2 1号横穴発見時の開口状況



3 1号横穴墓前域北側の発掘作業



4 1号横穴墓前域北側の発掘作業



5 1号横穴入口北側の確認作業



6 1号横穴墓前域北側の礫出土状況

写真5 ホンジノヤ横穴所在及び範囲確認調査写真3



1 1号横穴墓前域北側の礫出土状況



2 1号横穴墓前域北側の礫出土状況近景



3 1号横穴入口断面及び封鎖礫出土状況



4 1号横穴入口付近の封鎖礫出土状況近

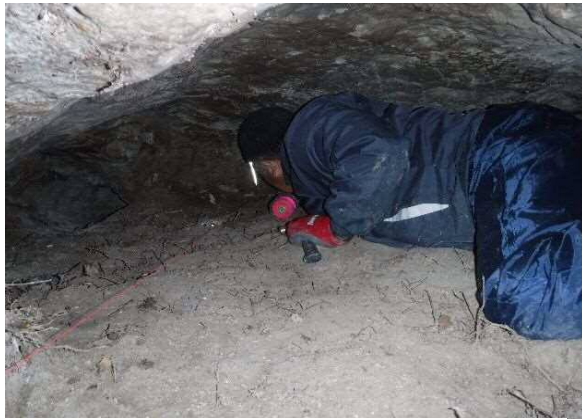


5 1号横穴玄室南側の状況



6 1号横穴玄室北側の状況

写真6 ホンジノヤ横穴所在及び範囲確認調査写真4



1 1号横穴玄室内部の基準点設置風景



2 1号横穴玄室内部の略測風景



3 1号横穴墓前域北側の略測風景



4 1号横穴墓前域北側の測量風景

写真7 ホンジノヤ横穴所在及び範囲確認調査写真5

出土遺物整理事業

市内遺跡の整理事業は、作業員1名で昨年度に引き続き、星の糞遺跡から出土した遺物の埋蔵文化財収蔵台帳と埋蔵文化財基本カードの作成及び平成29年度に所在及び範囲確認調査を実施したホンジノヤ横穴の図面類の整理事業などを実施した。

星の糞遺跡出土遺物の整理事業については、4月から9月まで星の糞遺跡から出土した石器(礫石錘)の整理事業を実施した。

また、9月19～11月17日まで南谷遺跡から出土した土器の破片の内、未注記のものについて、注記機械を業者から借用して注記を行った。南谷遺跡の未注記の土器は、当初182箱あったが、平成27年度に77箱、平成28年度に80箱分、そして、平成29年度に残りの25箱の注記を実施して完了した。

その後、平成29年12月から平成30年3月までは、星の糞遺跡から出土した石器(礫石錘)の整理事業の続きを実施した。なお、3月中旬以降は、所在及び範囲確認調査を実施したホンジノヤ横穴の図面類の整理事業などを実施した。

II 文化財保護・管理

1 国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業

(1) 調査報告

① ウミガメ上陸・産卵地

御前崎海岸には、昔から主にアカウミガメが上陸し、産卵をしている。世界的にも希少動物となったアカウミガメを保護するため、昭和55年3月6日に「御前崎のウミガメ及びその産卵地」が国指定天然記念物に指定された。

産卵地としての指定区域は、下岬海岸及びキンスから東松沢川までの約1.9kmの海岸部であり、御前崎海岸の全体というわけではなく、第1区の一部と、第2区、第3区が指定地内となり、第4区、第5区は指定地外である。特に、第2区、第3区、第4区、第5区は、護岸堤の設置や高波による海岸の砂の流出により、産卵場所が減少している。第1区に関しては、砂の堆積がみられるなど産卵場所の確保は他区に比べよいが、砂を掘ると水が湧く等、産卵適地であるとはいえない。また、10月に日本列島に上陸した台風21号の影響で、多くの砂が削り取られるとともに、流木やごみなど、大量の漂着物が第1区に流れ着いた。幸いにもウミガメの上陸・産卵期間ではなかったため、ウミガメに直接の影響は出ていないが、次年度以後の海岸保全に大きな課題を残すことになった。

浜岡地区の海岸についてもアカウミガメの上陸・産卵が確認されているが、今年度は、上陸の痕跡のみで、産卵には至っていないケースが多くみられた。

平成29年度においては、アカウミガメの上陸頭数・産卵個数・ふ化率の全てが昨年を下回った。これらの数字については、周期的に増減を繰り返しているが、その増減の原因はアカウミガメの生態が解明されていない現時点では、明確な回答が出ない状態である。ウミガメの産卵周期にかかわる現象であれば、再度増加に転ずることも考えられるため、その推移を見守るとともに、産卵場所となる海岸の保全に努めたい。

② 巡視区域と保護監視員

教育委員会から委嘱された8名(御前崎海岸4名・浜岡海岸4名)の保護監視員が担当区域を巡視して、上陸・産卵頭数等の確認調査等を実施した。

第1区	マリンパーク	から	元	根	(高田 正義)
第2区	元	根	から	芹	沢 (大澤 茂美)
第3区	芹	沢	から	東松沢川	(大澤 茂美)
第4区	東松沢川	から	尾	高	(澤部 春市)
第5区	尾	高	から	箆	川 (鈴木 紀捷)
浜1区	新野川	から	本町・中町の境		(中田 豊)
浜2区	本町・中町の境	から	七つ山・塩原の境		(早馬 彰夫)
浜3区	七つ山・塩原の境	から	塩原・合戸の境		(増田 均)
浜4区	塩原・合戸の境	から	合戸・掛川市の境		(良知 正美)

③ 保護監視員の任務

- ・産卵シーズンの毎朝、各自担当する区域の巡視
- ・ふ化開始からふ化終了までのふ化場巡視
- ・ウミガメに関する注意、呼びかけ
- ・上陸頭数、産卵頭数、産卵個数、ふ化頭数の確認調査
- ・卵及び子ガメの安全管理（ふ化場への移動）
- ・子ガメのふ化管理と放流
- ・海岸に漂着したウミガメの死骸処理及び供養

④ 平成 29 年度ウミガメ保護監視員及び事務局の主な活動記録

（全体活動）

- ・ウミガメ保護監視員による早朝、夜間巡視（5月15日開始）
- ・ふ化巡視（8月7日開始）

< 4 月 >

- 18 日 ウミガメ保護監視員会議
- 28 日 亀バックホーム大作戦（御前崎中学校行事）

< 5 月 >

- 11 日 子亀供養祭
- 15 日 ウミガメ保護活動開始
- 13 日 アカウミガメ初上陸（御前崎4区 小僧山）
- 27 日 アカウミガメ初産卵（御前崎1区 海藻場 130個 他）

< 7 月 >

- 7 日 御前崎小学校アカウミガメ放流・クリーン作戦
- 11 日 王滝中学校ウミガメ学習会（生徒6名・引率職員3名参加）
- 20 日 服織西小学校ウミガメ学習会（生徒 名・引率職員 名参加）
- 23～30 日 ウミガメ産卵観察会（参加者延べ630名）実施7日間 期間中上陸確認1頭

< 8 月 >

- 1 日 ウミガメ初ふ化【5/27 セツ山 産卵分】
- 26～28 日 一般子ガメ放流観察会（参加者延べ639名）

< 9 月 >

- 15 日 子ガメ受け入れ式（御前崎小学校）

< 11 月 >

- 17 日 高田代表・良知監視員 市長表彰受賞
- 20 日 アカウミガメふ化場卵掘り起こし

< 3 月 >

- 7 日 ウミガメ保護監視員視察研修（豊橋市表浜海岸・蒲郡市竹島水族館）



1 H29.4.28 亀バックホーム大作戦



2 H29.5.11 子亀供養祭



3 H29.5.27 初産卵採捕 130 個



4 H29.7.7 御前崎小学校アカウミガメ放流



5 H29.7.11 王滝中学校ウミガメ学習会



6 H29.7.20 服織西小学校学習会

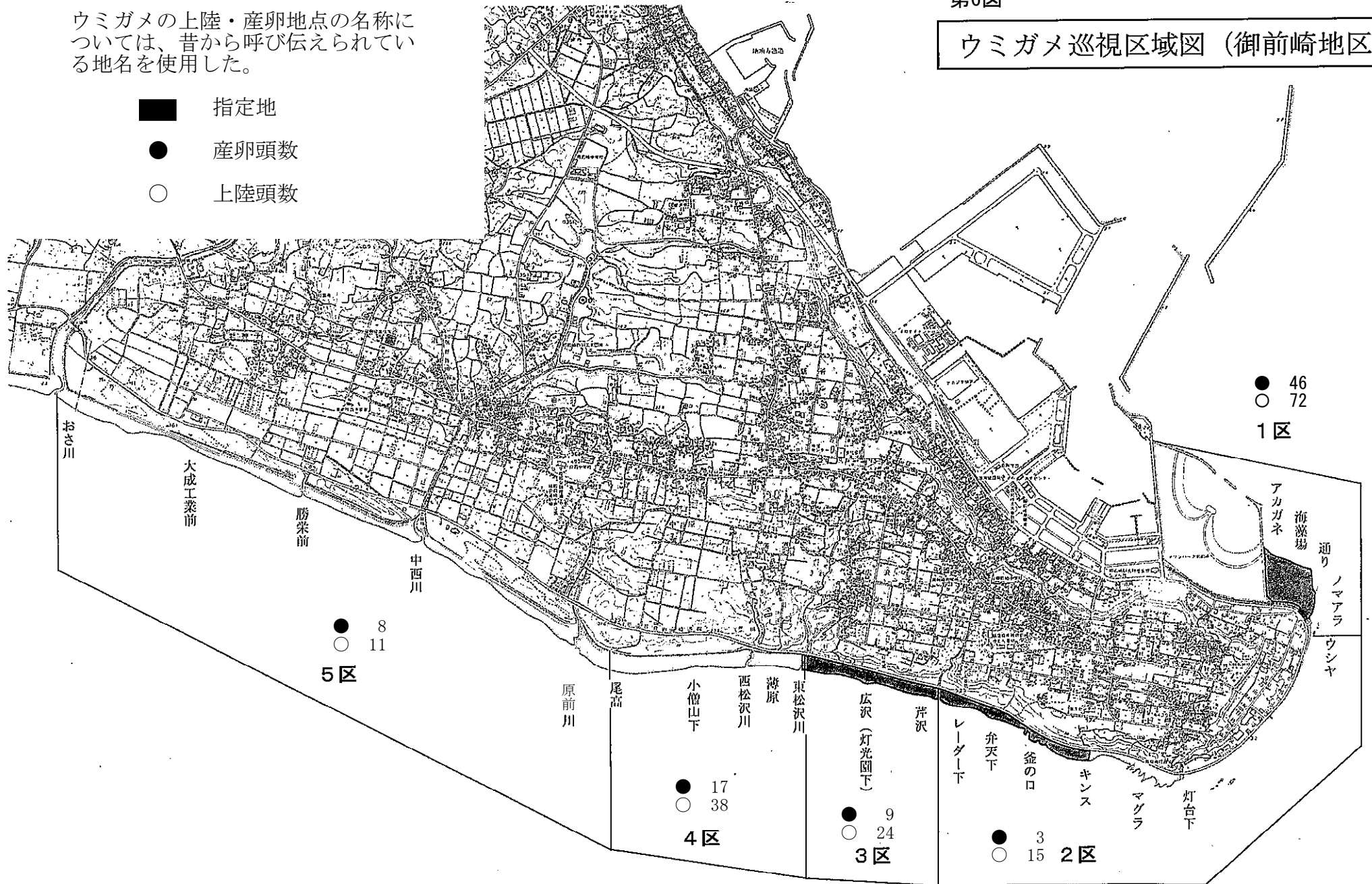
写真8 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子 1

第6図

ウミガメ巡視区域図 (御前崎地区)

ウミガメの上陸・産卵地点の名称については、昔から呼び伝えられている地名を使用した。

- 指定地
- 産卵頭数
- 上陸頭数



第3表

平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13									1						1			
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24									1						1			
25	1														1			
26	2														2			
27	2	1	130						1	1	80				3	2	210	
28									1						1			
29	1								1						2			
30	1	1	140												1	1	140	
31																		
月計	7	2	270						5	1	80				12	3	350	
総計	7	2	270						5	1	80				12	3	350	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第4表

平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3									1						1			
4						1			1			1	1	146	3	1	146	
5																		
6	1														1			
7	1	1	116												1	1	116	
8	1								1						2			
9																		
10																		
11	1	1	128												1	1	128	
12																		
13																		
14						1	1	67	1	1	121				2	2	188	
15									1	1	73				1	1	73	
16	1														1			
17						2	1	115							2	1	115	
18	1														1			
19	1	1	138												1	1	138	
20												1	1	115	1	1	115	
21																		
22	2	1	146												2	1	146	
23						1			1	1	142				2	1	142	
24	1	1	102												1	1	102	
25																		
26																		
27																		
28	2	1	134												2	1	134	
29									1	1	136				1	1	136	
30						1	1	108				2	1	164	3	2	272	
月計	12	6	764			6	3	290	7	4	472	4	3	425	29	16	1,951	
総計	19	8	1,034			6	3	290	12	5	552	4	3	425	41	19	2,301	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第5表

平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計			
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数	
1																			
2	2	2	292													2	2	292	
3							1									1			
4							1	1	76	1	1	34				2	2	110	
5	1	1	100													1	1	100	
6							2	1	93	1	1	121				3	2	214	
7																			
8				1									1	1	103	2	1	103	
9	1	1	150													1	1	150	
10	1	1	112													1	1	112	
11										1				1		2			
12										1	1	141				1	1	141	
13	3	3	305	1			1	1	120	1						6	4	425	
14	1	1	21				1									2	1	21	
15	2	2	229							1				1	1	136	3	3	365
16										2	1	159		1	1	99	3	2	258
17	1	1	140													1	1	140	
18				1												1			
19	2	2	289	2			1			1						6	2	289	
20				1	1	49	1			1	1	80				3	2	129	
21	1						1	1	82	3	1	95				5	2	177	
22	2	1	103							1						3	1	103	
23	4	2	278											1		5	2	278	
24	2	2	248													2	2	248	
25	1	1	132				1									2	1	132	
26							3	1	101							3	1	101	
27																			
28	3	3	382													3	3	382	
29																			
30	1	1	101													1	1	101	
31				1						1						2			
月計	28	24	2,882	7	1	49	13	5	472	15	6	630	5	3	338	68	39	4,371	
総計	47	32	3,916	7	1	49	19	8	762	27	11	1,182	9	6	763	109	58	6,672	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第6表
平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(8月分・9月分)

区 日	1 区			2 区			3 区			4 区			5 区			合 計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1	2	1	80						1						3	1	80	
2	2	2	273												2	2	273	
3	1								1	1	74				2	1	74	
4									1	1	82				1	1	82	
5	1	1	100						1	1	81				2	2	181	
6				1					1						2			
7	2	2	247												2	2	247	
8	1														1			
9	2	2	213	1			1								4	2	213	
10	1	1	139	1			1								3	1	139	
11	1	1	38	2			1	1	38	2					6	2	76	
12	2			1									1	1	80	4	1	80
13	1	1	104												1	1	104	
14	1						1						1	1	75	3	1	75
15									1	1	62				1	1	62	
16	1								1						2			
17	1	1	124												1	1	124	
18	1														1			
19																		
20	1			1	1	101									2	1	101	
21	2	1	124												2	1	124	
22	2	1	138												2	1	138	
23																		
24																		
25																		
26				1	1	91									1	1	91	
27									1	1	80				1	1	80	
28																		
29																		
30							1								1			
31									1	1	81				1	1	81	
月計	25	14	1,580	8	2	192	5	1	38	11	6	460	2	2	155	51	25	2,425
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計	72	46	5,496	15	3	241	24	9	800	38	17	1,642	11	8	918	160	83	9,097

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第7表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	5月27日	小僧山	80	8月8日	22	0	73	27.50%	第4区:朝
				計	22	0			
2	5月27日	海藻場	130					0.00%	第1区:
				計	0	0			
3	5月30日	アカガネ	140	8月4日	85	0	66	69.28%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:夜
				8月5日	6	0	67		
				8月5日	6	0	67		
				計	97	0			
4	6月4日	箴川西	146	8月14日	6	0	71	4.79%	第5区:夜 第5区:朝
				8月15日	1	0	72		
				計	7	0			
5	6月7日	アカガネ	116	8月11日	11	0	65	12.06%	第1区:夜 第1区:朝
				8月12日	3	0	66		
				計	14	0			
6	6月11日	アカガネ	128	8月9日	78	0	59	60.93%	第1区:夜
				計	78	0			
7	6月14日	薄原	121	8月11日	27	0	58	22.31%	第4区:朝
				計	27	0			
8	6月14日	芹沢	67	8月11日	51	0	58	76.11%	第3区:夜
				計	51	0			
9	6月15日	小僧山	73					0.00%	第4区:
				計	0	0			
10	6月17日	芹沢	115	8月14日	57	0	58	49.56%	第3区:夜
				計	57	0			
11	6月19日	アカガネ	138	8月15日	91	0	57	70.28%	第1区:朝 第1区:夜
				8月16日	6	0	58		
				計	97	0			
12	6月20日	箴川東	115	8月16日	39	0	57	40.00%	第5区:夜 第5区:朝 第5区:夜
				8月19日	6	0	60		
				8月19日	1	0	60		
				計	46	0			
13	6月22日	海藻場	146					0.00%	第1区:
				計	0	0			
14	6月23日	小僧山	142	8月22日	7	0	60	4.92%	第4区:夜
				計	7	0			
15	6月24日	海藻場	102	8月20日	36	0	57	35.29%	第1区:夜
				計	36	0			
16	6月28日	海藻場	134	8月20日	1	0	53	9.70%	第1区:夜 第1区:夜
				8月21日	12	0	54		
				計	13	0			
17	6月29日	小僧山	136	8月20日	2	0	52	19.85%	第4区:夜 第4区:夜 第4区:夜
				8月22日	20	0	54		
				8月22日	5	0	54		
				計	27	0			
18	6月30日	芹沢	108	8月21日	68	0	52	62.96%	第3区:夜
				計	68				
19	6月30日	箴川	164					0.00%	第5区:
				計	0	0			

第7表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
20	7月2日	通り	122	8月22日	45	0	51	38.52%	第1区:夜
				8月24日	1	0	53		第1区:夜
				8月28日	1	0	57		第1区:朝
				計	47	0			
21	7月2日	海藻場	170	8月22日	55	0	51	37.05%	第1区:朝
				8月22日	1	0	51		第1区:夜
				8月23日	1	0	52		第1区:朝
				8月23日	4	0	52		第1区:夜
				8月26日	1	0	55		第1区:夜
				8月27日	1	1	56		第1区:昼
				計	63	1			
22	7月4日	広沢	76	8月22日	64	0	49	84.21%	第3区:夜
				計	64	0			
23	7月4日	小僧山	34	8月26日	23	0	53	70.58%	第4区:夜
				9月1日	1	0	59		第4区:夜
				計	24	0			
24	7月5日	アカガネ	100	8月24日	39	0	50	40.00%	第1区:夜
				8月28日	1	0	54		第1区:夜
				計	40	0			
25	7月6日	広沢	93	8月26日	56	0	51	60.21%	第3区:朝
				計	56	0			
26	7月6日	小僧山	121					0.00%	第4区:
				計	0	0			
27	7月8日	中西川	103	8月26日	39	0	49	37.86%	第5区:朝
				計	39	0			
28	7月9日	海藻場	150	8月26日	2	0	48	55.33%	第1区:夜
				8月27日	1	0	49		第1区:昼
				8月28日	67	0	50		第1区:朝
				8月28日	2	0	50		第1区:夜
				8月29日	4	0	51		第1区:朝
				8月30日	2	0	52		第1区:朝
				8月31日	4	0	53		第1区:朝
				9月4日	1	0	57		第1区:朝
				計	83	0			
29	7月10日	海藻場	112	8月26日	108	5	47	96.42%	第1区:夜
				計	108	5			
30	7月12日	小僧山	141	9月1日	55	0	51	39.00%	第4区:朝
				計	55	0			
31	7月13日	芹沢	120	8月30日	62	1	48	56.66%	第3区:夜
				9月1日	1	0	50		第3区:朝
				9月2日	4	0	51		第3区:朝
				9月5日	1	0	54		第3区:朝
				計	68	1			
32	7月13日	海藻場	85	9月1日	35	0	50	41.17%	第1区:朝
				計	35	0			
33	7月13日	東ビーチ	100	9月2日	66	1	51	66.00%	第1区:朝
				計	66	1			

第7表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
34	7月13日	通り	120	9月5日	31	0	54	27.50%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:夜
				9月9日	1	0	58		
				9月13日	1	0	62		
				計	33	0			
35	7月14日	通り	21					0.00%	第1区:
				計	0	0			
36	7月15日	通り	105					0.00%	第1区:
				計	0	0			
37	7月15日	通り	124	9月6日	47	0	53	37.90%	第1区:夜
				計	47	0			
38	7月15日	箴川東	136	8月31日	113	0	47	83.08%	第5区:朝
				計	113	0			
39	7月16日	薄原	159	9月6日	57	0	52	37.10%	第4区:夜 第4区:朝
				9月14日	2	0	60		
				計	59	0			
40	7月16日	箴川東	99					0.00%	第5区:
				計	0	0			
41	7月17日	通り	140	9月6日	81	0	51	59.28%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:朝
				9月17日	1	0	62		
				9月17日	1	0	62		
				計	83	0			
42	7月19日	アカガネ	146	9月9日	70	0	52	48.63%	第1区:朝 第1区:夜
				9月18日	1	0	61		
				計	71	0			
43	7月19日	西ビ一子	143	9月10日	14	0	53	11.18%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:朝
				9月11日	1	0	54		
				9月12日	1	0	55		
				計	16	0			
44	7月20日	灯台下	49					0.00%	第2区:
				計	0	0			
45	7月20日	小僧山	80	9月13日	1	0	55	6.25%	第4区:夜 第4区:夜 第4区:夜
				9月14日	2	0	56		
				9月26日	2	0	68		
				計	5	0			
46	7月21日	広沢	82	9月10日	69	0	51	84.14%	第3区:夜
				計	69	0			
47	7月21日	小僧山	95	9月12日	5	0	53	9.47%	第4区:朝 第4区:朝
				9月13日	4	0	54		
				計	9	0			
48	7月22日	海藻場	103	9月10日	81	0	50	79.61%	第1区:夜 第1区:夜
				9月27日	1	0	67		
				計	82	0			
49	7月23日	海藻場	143	9月13日	62	0	52	44.05%	第1区:朝 第1区:夜
				9月20日	1	0	59		
				計	63	0			
50	7月23日	海藻場	135	9月10日	55	0	49	41.48%	第1区:夜 第1区:朝
				9月11日	1	0	50		
				計	56	0			

第7表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
51	7月24日	海藻場	117	9月11日	84	0	49	75.21%	第1区:朝
				9月11日	1	0	49		第1区:夜
				9月13日	2	0	51		第1区:夜
				9月17日	1	0	55		第1区:朝
				計	88	0			
52	7月24日	通り	131	9月11日	100	0	49	76.33%	第1区:夜
				計	100	0			
53	7月25日	アカガネ	132	9月13日	122	0	50	93.18%	第1区:朝
				9月14日	1	0	51		第1区:朝
				計	123	0			
54	7月26日	広沢	101	9月15日	86	0	51	85.14%	第3区:朝
				計	86	0			
55	7月28日	海藻場	168					0.00%	第1区:
				計	0	0			
56	7月28日	アカガネ	114	9月21日	13	0	55	18.42%	第1区:朝
				9月22日	3	0	56		第1区:朝
				9月23日	4	0	57		第1区:朝
				9月25日	1	1	59		第1区:朝
				計	21	0			
57	7月28日	アカガネ	100	9月17日	49	0	51	52.00%	第1区:朝
				9月23日	1	0	57		第1区:夜
				9月30日	1	0	64		第1区:夜
				10月3日	1	0	67		第1区:夜
				計	52	0			
58	7月30日	通り	101	9月23日	50	0	55	51.48%	第1区:朝
				9月29日	1	0	61		第1区:夜
				10月4日	1	0	66		第1区:夜
				計	52	0			
59	8月1日	東ビーチ	80	9月23日	1	0	53	17.50%	第1区:夜
				9月25日	7	0	55		第1区:朝
				9月27日	6	0	57		第1区:夜
				計	14	0			
60	8月2日	通り	135	9月25日	92	0	54	68.88%	第1区:朝
				10月6日	1	0	65		第1区:夜
				計	93	0			
61	8月2日	東ビーチ	138	9月27日	81	0	56	60.86%	第1区:夜
				9月28日	2	0	57		第1区:朝
				9月29日	1	0	58		第1区:朝
				計	84	0			
62	8月3日	小僧山	74					0.00%	第4区:
				計	0	0			
63	8月4日	薄原	82	8月10日	76	0	6	96.34%	第4区:朝
				8月14日	3	0	10		第4区:朝
				計	79	0			産卵一月以上前
64	8月5日	海藻場	100	10月3日	47	0	59	48.00%	第1区:朝
				10月14日	1	0	70		第1区:朝
				計	48	0			
65	8月5日	小僧山	81	10月5日	28	0	61	35.80%	第4区:朝
				10月6日	1	0	62		第4区:夜
				計	29	0			

第7表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
66	8月7日	通り	119	10月3日	67	0	57	57.14%	第1区:朝
				10月14日	1	0	68		第1区:朝
				計	68	0			
67	8月7日	通り	128	10月3日	59	0	57	46.09%	第1区:朝
				計	59	0			
68	8月9日	海藻場	93	10月7日	68	0	59	76.34%	第1区:朝
				10月9日	3	0	61		第1区:夜
				計	71	0			
69	8月9日	海藻場	120	10月7日	113	0	59	94.16%	第1区:朝
				計	113	0			
70	8月10日	海藻場	139	10月7日	81	0	58	58.99%	第1区:朝
				10月14日	1	0	65		第1区:朝
				計	82	0			
71	8月11日	通り	38					0.00%	第1区:
				計	0	0			
72	8月11日	広沢	38	10月15日	29	0	65	84.21%	第3区:朝
				10月19日	2	0	69		第3区:朝
				10月27日	1	0	77		第3区:夜
				計	32	0			
73	8月12日	中西川	80	10月17日	4	0	66	8.75%	第5区:朝
				10月19日	1	0	68		第5区:夜
				10月24日	1	0	73		第5区:朝
				11月1日	1	0	81		第5区:朝
				計	7	0			
74	8月13日	通り	104	10月16日	31	0	64	29.80%	第1区:夜
				10月18日	10	0	66		第1区:朝
				11月5日	2	0	84		第1区:朝
				11月6日	1	0	85		第1区:朝
				11月14日	2	0	93		第1区:朝
				計	46	0			
75	8月14日	しるたれ川	75	10月3日	71	0	50	94.66%	第5区:朝
				計	71	0			
76	8月15日	小憎山	62	10月3日	20	0	49	32.25%	第4区:朝
				計	20	0			
77	8月17日	海藻場	124	10月30日	9	0	74	20.96%	第1区:夜
				10月31日	4	0	75		第1区:朝
				11月1日	7	0	76		第1区:朝
				11月6日	6	0	81		第1区:朝
				計	26	26			
78	8月20日	灯台下	101					0.00%	第2区:
				計	0	0			
79	8月21日	海藻場	124	11月2日	21	0	73	61.29%	第1区:朝
				11月20日	55	0	91		第1区:朝
				計	76				
80	8月22日	通り	138					0.00%	第1区:
				計	0	0			
81	8月26日	灯台下	91					0.00%	第2区:
				計	0	0			
82	8月27日	薄原	80					0.00%	第4区:
				計	0	0			

第7表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
83	8月31日	薄原	81					0.00%	第4区: 第4区:
				計	0	0			
合計平均			9,097		3,641	7	57.81	40.02%	

放流頭数(御小20匹除く)	3,614
0%巣を除いたふ化率	49.08%

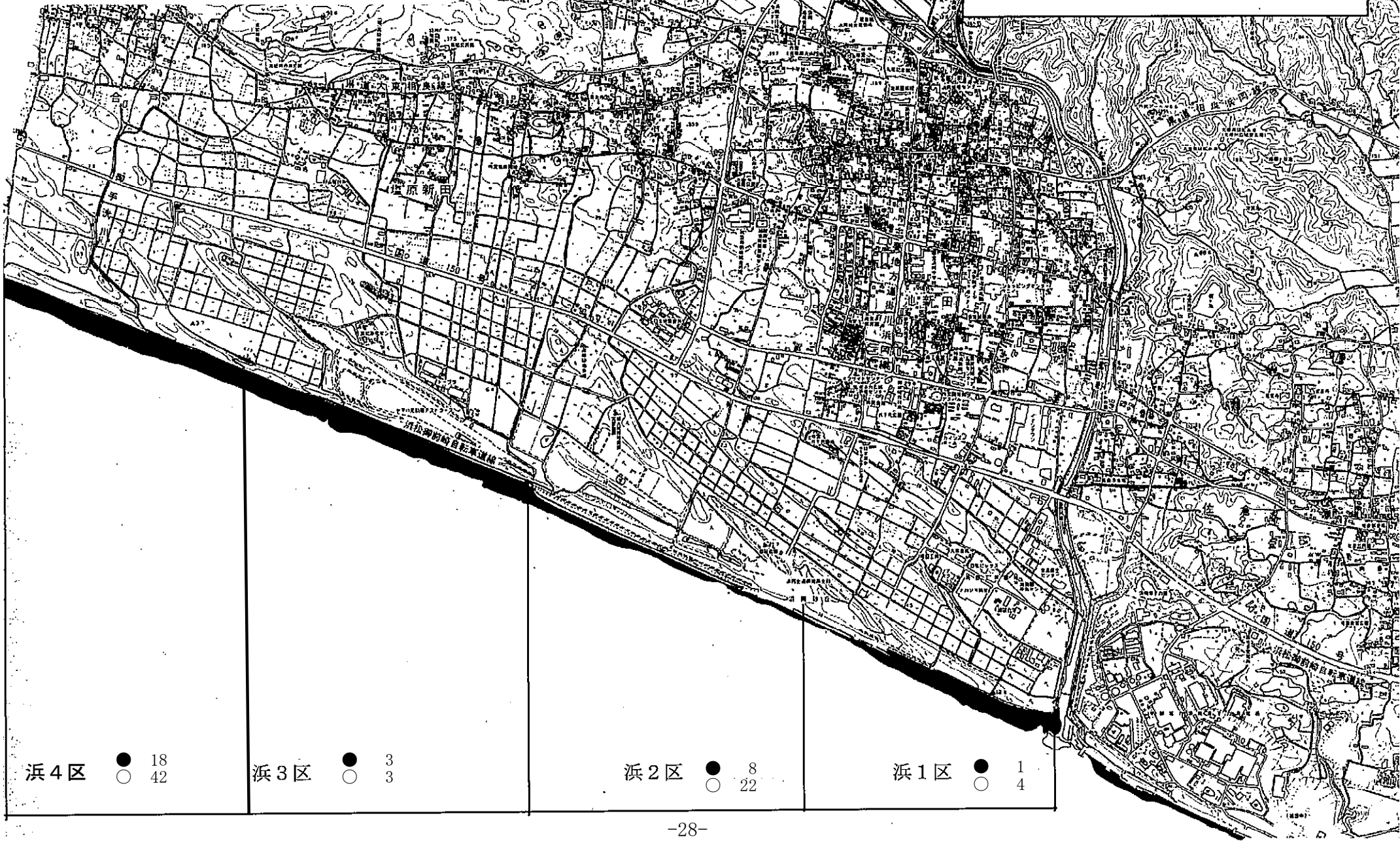
最大ふ化率	96.42%
最小ふ化率	4.92%

ふ化率	巣数	比率	卵数	比率
90%以上	5	6.02%	521	5.73%
80%以上90%未満	5	6.02%	433	4.76%
70%以上80%未満	7	8.43%	683	7.51%
60%以上70%未満	8	9.64%	966	10.62%
50%以上60%未満	7	8.43%	869	9.55%
40%以上50%未満	9	10.84%	1,067	11.73%
30%以上40%未満	9	10.84%	1,064	11.70%
20%以上30%未満	5	6.02%	549	6.03%
10%以上20%未満	5	6.02%	589	6.47%
1%以上10%未満	6	7.23%	677	7.44%
0%	17	20.48%	1,679	18.46%
計	83	99.97%	9,097	100.00%

区名	巣数
第1区	46
第2区	3
第3区	9
第4区	17
第5区	8
計	83

● 産卵頭数
○ 上陸頭数

第7図
ウミガメ巡視区域図 (浜岡地区)



第8表

平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27						1	1	144					1	1	144
28															
29									1	1	133		1	1	133
30															
31															
月計						1	1	144	1	1	133		2	2	277
総計						1	1	144	1	1	133		2	2	277

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第9表

平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2									2				2		
3															
4															
5															
6															
7									1				1		
8									1				1		
9				1									1		
10	1			1									2		
11															
12				1					1				2		
13									1	1	122		1	1	122
14															
15															
16				2	2	248			1	1	111		3	3	359
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23									1				1		
24															
25															
26															
27				1					1	1	81		2	1	81
28															
29															
30															
月計	1			6	2	248			9	3	314		16	5	562
総計	1			6	2	248	1	1	144	10	4	447	18	7	839

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第10表

平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1				1						1			2		
2															
3							2	2	154	1	1	125	3	3	279
4				1	1	111							1	1	111
5	1												1		
6				1									1		
7															
8															
9				1									1		
10															
11				1									1		
12															
13															
14															
15															
16				1	1	67							1	1	67
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24				4	1	127							4	1	127
25															
26															
27															
28															
29															
30	1												1		
31															
月計	2			10	3	305	2	2	154	2	1	125	16	6	584
総計	3			16	5	553	3	3	298	12	5	572	34	13	1,423

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第11表

平成29年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1				1									1		
2	1	1	102	1									2	1	102
3				1	1	140							1	1	140
4															
5															
6															
7															
8				1	1	110							1	1	110
9															
10															
11									1	1	122		1	1	122
12															
13															
14															
15															
16				1									1		
17															
18				1	1	151							1	1	151
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
月計	1	1	102	6	3	401			1	1	122		8	5	625
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
月計															
総計	4	1	102	22	8	954	3	3	298	13	6	694	42	18	2,048

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第12表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	5月27日	七ツ山	144	8月1日	7	0	66	8.33%	第3区:朝 第3区:夜
				8月4日	5	0	69		
				計	12	0			
2	5月29日	塩原	133	8月2日	47	0	65	69.92%	第4区:朝 第4区:朝 第4区:夜 第4区:夜 第4区:夜 第4区:朝 第4区:夜 第4区:夜
				8月2日	21	0	65		
				8月2日	2	0	65		
				8月3日	13	0	66		
				8月4日	1	0	67		
				8月5日	2	0	68		
				8月5日	6	0	68		
				8月10日	1	0	73		
				計	93	0			
3	6月13日	塩原	122	8月10日	112	0	58	93.44%	第4区:夜 第4区:朝 第4区:夜
				8月11日	1	0	59		
				8月13日	1	0	61		
				計	114	0			
4	6月16日	塩原	111	8月10日	1	0	55	41.44%	第4区:夜 第4区:朝 第4区:朝
				8月13日	43	0	58		
				8月16日	2	0	61		
				計	46	0			
5	6月16日	浜岡砂丘	140	8月10日	129	0	55	97.14%	第2区:夜 第2区:朝 第2区:朝
				8月11日	6	0	56		
				8月12日	1	0	57		
				計	136	0			
6	6月16日	七ツ山東	108	8月11日	82	0	56	79.62%	第2区:朝 第2区:朝 第2区:夜
				8月12日	1	0	57		
				8月17日	3	0	62		
				計	86	0			
7	6月27日	塩原	81	8月22日	16	0	56	19.75%	第4区:夜
				計	16	0			
8	7月3日	合戸	125					0.00%	第4区:
				計	0	0			
9	7月3日	ヤマハ	40	8月24日	1	0	52	12.50%	第3区:朝 第3区:夜
				8月25日	4	0	53		
				計	5	0			
10	7月3日	七ツ山	114	8月23日	85	0	51	74.56%	第3区:夜
				計	85	0			
11	7月4日	浜岡砂丘西	111	8月22日	76	0	49	71.17%	第2区:夜 第2区:朝 第2区:夜
				8月23日	1	0	50		
				8月25日	2	0	52		
				計	79	0			
12	7月16日	大山前	67	9月5日	56	0	51	83.58%	第2区:朝
				計	56	0			
13	7月24日	大山	127	9月12日	91	0	50	71.65%	第2区:朝
				計	91	0			
14	8月2日	東町	102	9月27日	53	0	56	51.96%	第1区:夜
				計	53	0			
15	8月3日	浜岡砂丘前	140	9月27日	126	0	55	90.00%	第2区:朝
				計	126	0			
16	8月8日	浜岡砂丘前	110	10月2日	92	0	55	84.54%	第2区:朝 第2区:朝
				10月14日	1	0	67		
				計	93	0			
17	8月11日	塩原	122					0.00%	第4区:
				計	0	0			

第12表 平成29年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
18	8月18日	浜岡砂丘	151	10月16日	67	0	59	56.29%	第2区:夜
				10月18日	8	0	61		第2区:朝
				10月19日	10	0	62		第2区:朝
				計	85	0			
合計 平均			2,048		1,176	0	59.11	57.42%	

放流頭数	1,176
0%巢を除いたふ化率	57.42%

最大ふ化率	97.14%
最小ふ化率	8.33%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	3	16.67%	402	19.63%
80%以上90%未満	2	11.11%	177	8.64%
70%以上80%未満	4	22.22%	460	22.46%
60%以上70%未満	1	5.56%	133	6.49%
50%以上60%未満	2	11.11%	253	12.35%
40%以上50%未満	1	5.56%	111	5.42%
30%以上40%未満	0	0.00%	0	0.00%
20%以上30%未満	0	0.00%	0	0.00%
10%以上20%未満	2	11.11%	121	5.91%
1%以上10%未満	1	5.56%	144	7.03%
0%	2	11.12%	247	12.07%
計	18	100.02%	2,048	100.00%

区名	巢数
第1区	1
第2区	8
第3区	3
第4区	6
計	18

第13表
平成29年度 地温計測状況(第1ふ化場)

(5月分)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
5月1日											
5月2日											
5月3日											
5月4日											
5月5日											
5月6日											
5月7日											
5月8日											
5月9日											
5月10日											
5月11日											
5月12日											
5月13日											
5月14日											
5月15日											
5月16日											
5月17日											
5月18日											
5月19日											
5月20日											
5月21日											
5月22日											
5月23日											
5月24日											
5月25日											
5月26日											
5月27日	22.1	22.0	22.4	22.3					17.5	18.1	22.0
5月28日	22.3	22.2	22.8	22.7					16.4	18.1	22.3
5月29日	22.8	23.2	23.4	23.5					17.8	19.3	22.8
5月30日	23.3	23.5	23.8	23.8					17.9	21.3	23.7
5月31日	23.6	23.7	24.5	24.5					21.3	23.4	23.7
平均	22.8	22.9	23.4	23.4					18.2	20.0	22.9

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第14表
平成29年度 地温計測状況(第1ふ化場)

(6月分)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
6月1日	24.0	24.2	24.7	24.7					19.2	19.4	24.1
6月2日	23.7	23.8	24.2	24.3					19.0	19.2	23.8
6月3日	23.7	23.6	24.2	24.3					16.2	18.1	23.6
6月4日	23.4	23.4	24.0	24.1					16.0	19.3	23.3
6月5日	23.7	23.7	24.4	24.4					16.6	20.3	23.6
6月6日	23.9	24.0	24.5	24.7					18.8	21.3	23.9
6月7日	24.0	24.2	24.9	25.0					19.5	22.8	24.7
6月8日	23.4	23.5	24.0	24.1					17.5	20.0	23.4
6月9日	22.4	22.3	22.7	22.8					18.6	19.8	22.3
6月10日	23.4	23.6	24.2	24.3					17.9	17.6	23.8
6月11日	24.2	24.2	24.7	24.9					20.8	22.8	24.2
6月12日	23.8	24.0	24.4	24.4					18.6	22.6	23.9
6月13日	23.8	23.9	24.4	24.5					19.1	21.8	24.1
6月14日	24.0	24.7	25.0	25.1					19.0	20.8	24.5
6月15日	24.4	24.5	25.0	25.2					19.4	22.9	24.5
6月16日	24.8	24.9	25.4	25.5					18.7	23.3	24.8
6月17日	25.1	25.5	25.7	26.0					20.4	21.1	25.2
6月18日	25.2	25.2	25.8	25.9					21.1	23.9	25.2
6月19日	24.1	24.1	24.4	24.7					19.9	21.0	23.9
6月20日	24.8	24.9	25.2	25.4					20.6	24.2	24.8
6月21日	24.9	25.0	25.4	25.6					21.9	24.9	24.9
6月22日	23.2	23.3	23.4	23.5					20.4	20.6	23.1
6月23日	23.7	23.7	24.0	24.1					20.3	22.1	23.7
6月24日	24.9	25.1	25.5	24.1					21.0	24.2	24.8
6月25日	25.5	25.5	25.5	23.7					20.9	24.6	25.3
6月26日	24.1	24.2	24.3	24.3					21.8	22.1	24.1
6月27日	24.2	24.3	24.4	24.6					21.4	22.3	24.3
6月28日	24.3	24.3	24.5	24.7					21.3	23.1	24.3
6月29日	23.8	23.9	24.1	24.3					20.8	20.5	23.8
6月30日	24.5	24.6	24.8	24.9					22.1	22.6	24.6
平均	24.1	24.2	24.6	24.6					19.6	21.6	24.2

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第15表
平成29年度 地温計測状況(第1ふ化場)

(7月分)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
7月1日	24.2	24.2	24.4	24.5					23.3	23.6	24.2
7月2日	24.6	24.6	24.9	25.0					22.8	24.1	24.6
7月3日	26.0	25.9	25.9	26.3					23.6	25.0	26.9
7月4日	27.3	27.1	27.3	27.8					23.9	25.9	26.9
7月5日	26.5	26.3	26.7	26.8					23.0	24.0	26.4
7月6日	25.7	25.6	25.9	25.8					22.7	22.5	25.7
7月7日	26.2	26.3	26.8	26.9					23.6	25.1	26.2
7月8日	26.8	26.9	27.3	27.6					22.6	26.5	26.8
7月9日	27.7	27.7	28.0	28.1					23.8	26.3	27.3
7月10日	27.7	27.8	28.2	28.5					24.8	28.0	27.6
7月11日	28.1	28.5	28.9	28.9					23.9	28.3	28.3
7月12日	29.3	29.4	30.0	30.4					25.6	26.5	29.8
7月13日	29.6	29.9	30.7	30.4					25.4	28.3	29.8
7月14日	28.4	28.5	29.1	28.9					24.3	26.2	28.4
7月15日	28.8	29.1	29.5	29.7					24.1	26.3	28.8
7月16日	29.2	29.5	30.0	30.0					25.5	29.1	29.3
7月17日	29.6	29.8	30.0	30.1					27.1	29.2	29.4
7月18日	28.9	29.3	29.5	29.6					26.5	28.8	29.0
7月19日	29.1	29.1	29.8	29.8					24.3	28.5	29.0
7月20日	29.8	29.8	30.8	30.7					25.7	27.2	29.6
7月21日	30.2	30.2	31.0	30.6					25.9	27.2	30.1
7月22日	30.1	30.1	30.7	30.7					25.8	29.9	30.0
7月23日	30.0	30.2	30.7	30.7					25.8	29.9	30.0
7月24日	29.5	29.5	30.3	30.2					26.6	29.2	29.6
7月25日	29.8	29.8	30.4	30.4					26.5	30.1	29.7
7月26日	30.6	30.6	31.6	31.1					27.0	30.8	30.4
7月27日	30.1	30.3	31.0	30.9					25.0	29.6	30.2
7月28日	29.7	29.9	30.7	30.2					25.1	29.2	29.7
7月29日	29.9	29.9	30.7	30.4					26.4	30.3	29.9
7月30日	29.8	30.0	30.7	30.5					26.2	29.4	29.8
7月31日	29.5	29.8	30.6	30.4					26.3	29.6	29.7
平均	28.5	28.6	29.1	29.1					24.9	27.6	28.5

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第16表
平成29年度 地温計測状況(第1ふ化場)

(8月分)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
8月1日	30.1	30.1	30.9	30.7					27.3	30.9	30.1
8月2日	30.1	30.4	31.3	30.7					25.5	26.3	30.1
8月3日	28.2	28.4	29.0	28.8					24.8	23.8	28.2
8月4日	29.1	28.9	29.5	29.1					25.5	26.6	28.7
8月5日	29.7	29.5	30.2	30.0					26.1	27.6	29.9
8月6日	29.5	29.6	30.3	29.8					25.7	27.4	29.5
8月7日	30.2	30.6	30.9	30.7					26.8	29.3	30.8
8月8日	28.9	28.8	29.9	29.4					27.0	26.8	28.8
8月9日	29.0	29.2	29.9	29.4					25.6	26.7	28.8
8月10日	29.5	29.8	30.5	29.9					26.2	28.1	29.7
8月11日	30.5	30.7	31.7	31.2					25.9	28.0	30.5
8月12日	29.2	29.3	30.6	29.8					24.7	25.5	29.2
8月13日	28.9	29.0	29.6	29.2					25.7	26.8	28.8
8月14日	29.4	29.5	30.5	29.6					25.0	26.9	29.4
8月15日	29.1	29.2	30.0	29.4					26.2	26.7	29.1
8月16日	28.4	28.6	29.5	29.1					25.4	25.2	28.4
8月17日	27.1	27.1	27.9	27.5					25.0	24.8	27.1
8月18日	28.7	28.8	29.8	29.0					26.5	28.0	28.6
8月19日	29.9	29.7	30.6	30.1					25.4	27.0	29.6
8月20日	29.9	30.0	30.8	30.7					26.4	27.0	30.0
8月21日	29.8	29.9	30.5	30.6					26.1	27.0	29.9
8月22日	30.2	30.5	31.0	30.5					25.8	28.1	30.1
8月23日	30.6	30.9	31.2	31.2					27.2	28.1	30.8
8月24日	30.1	30.5	31.6	30.6					27.8	28.5	30.3
8月25日	30.2	30.6	31.6	31.2					27.4	28.9	30.6
8月26日	30.6	30.9	31.8	31.6					27.4	29.1	30.6
8月27日	30.6	30.6	31.9	31.4					25.9	28.4	30.6
8月28日	30.4	30.5	31.7	31.4					25.5	28.5	30.5
8月29日	30.1	30.3	31.4	31.0					25.3	27.1	30.3
8月30日	30.1	30.2	30.9	30.8					27.1	28.3	30.3
8月31日	30.8	31.1	31.5	32.0					26.1	28.3	31.0
平均	29.6	29.8	30.6	30.2					26.1	27.4	29.7

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第17表
平成29年度 地温計測状況(第1ふ化場)

(9月分)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
9月1日	30.4	30.7	31.8	31.8					24.3	27.6	30.7
9月2日	27.1	28.0	28.9	28.8					21.6	20.7	27.5
9月3日	28.3	28.6	28.7	29.0					28.4	25.9	28.1
9月4日	28.0	28.2	28.9	29.0					23.3	25.8	28.4
9月5日	27.8	28.3	28.4	28.8					23.4	23.0	28.1
9月6日	27.9	28.1	28.2	28.6					23.3	22.0	27.7
9月7日	25.2	25.8	24.8	24.7					23.8	24.0	25.4
9月8日	26.0	26.3	25.7	24.9					24.0	23.0	20.7
9月9日	28.0	28.2	28.5	29.0					24.8	25.5	28.1
9月10日	27.4	27.8	27.5	29.0					25.7	25.4	27.7
9月11日	28.0	28.6	28.1	29.8					27.0	26.7	28.6
9月12日	28.2	28.7	28.6	28.9					26.1	26.5	28.5
9月13日	26.7	26.9	27.2	28.2					23.7	21.9	27.3
9月14日	26.9	27.3	27.1	27.4					22.8	22.4	27.3
9月15日	27.5	28.0	28.2	28.5					23.2	23.3	27.8
9月16日	26.5	27.0	26.5	27.0					21.0	20.5	26.9
9月17日	25.3	25.3	25.5	25.0					21.8	20.6	25.1
9月18日	24.6	25.1	24.8	25.2					25.4	25.0	24.9
9月19日	24.8	25.2	25.5	26.3					26.4	22.3	25.3
9月20日	26.3	26.7	26.6	27.1					23.5	22.5	26.9
9月21日	25.8	26.4	26.6	26.4					21.6	21.9	25.9
9月22日	25.0	26.1	25.6	25.7					23.4	23.1	25.2
9月23日	24.7	25.2	25.2	25.0					23.2	22.1	25.3
9月24日	25.0	25.3	25.8	27.0					26.0	25.6	25.3
9月25日	25.3	25.8	25.6	26.1					21.9	21.6	25.6
9月26日	25.3	26.1	24.9	25.7					21.3	21.2	25.7
9月27日	26.0	26.9	26.0	26.9					24.5	23.7	26.5
9月28日	25.8	25.7	25.9	26.1					22.3	22.1	25.9
9月29日	25.6	25.5	25.5	26.1					20.8	19.7	25.5
9月30日	23.6	24.0	23.2	24.0					21.7	21.5	24.3
平均	26.4	26.9	26.8	27.2					23.7	23.2	26.5

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第18表
平成29年度 地温計測状況(第1ふ化場)

(10月分)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
10月1日	24.5	24.9	24.6	24.5					21.8	20.8	25.0
10月2日	24.0	24.5	24.0	24.3					19.0	20.0	24.3
10月3日	24.7	24.7	25.0	25.1					21.0	21.1	25.3
10月4日	24.7	25.0	24.8	25.1					22.3	22.3	25.2
10月5日	23.9	23.9	23.9	24.6					19.8	20.9	24.2
10月6日	23.6	23.6	23.7	24.1					20.0	20.5	24.0
10月7日	21.1	20.8	21.2	21.4					20.9	19.0	21.7
10月8日	21.7	21.8	21.1	21.5					22.5	21.4	22.1
10月9日	23.7	24.1	23.9	24.3					21.7	21.5	24.2
10月10日	24.0	23.9	23.7	24.0					20.0	21.0	23.9
10月11日	24.8	25.0	24.8	25.2					20.9	22.2	25.0
10月12日	25.1	25.4	25.2	25.5					24.3	23.3	25.3
10月13日	25.3	25.5	25.3	25.8					23.9	24.5	25.5
10月14日	24.3	24.6	24.6	24.8					20.0	22.0	24.4
10月15日	23.1	22.9	23.4	23.6					19.0	18.7	23.5
10月16日	18.8	18.5	18.3	18.6					16.2	16.4	18.8
10月17日	19.4	19.6	20.0	20.4					16.1	15.5	19.1
10月18日	19.0	19.8	19.9	20.1					19.0	17.1	18.9
10月19日	20.0	20.4	20.7	20.8					14.8	15.8	20.7
10月20日	18.0	18.3	18.1	18.2					18.6	17.9	18.5
10月21日	20.0	20.0	20.1	20.3					20.7	19.7	20.2
10月22日	20.3	20.5	20.2	20.0					20.1	19.5	20.5
10月23日	20.5	20.7	20.7	20.7					21.3	17.8	20.6
10月24日	17.6	17.3	17.5	17.5					18.0	17.4	17.5
10月25日	19.5	19.4	19.4	19.5					16.5	16.1	19.7
10月26日	17.3	16.7	18.1	17.7					17.3	14.2	18.7
10月27日	19.3	19.2	19.3	19.2					15.1	15.6	19.2
10月28日	19.8	19.4	19.4	19.7					19.7	19.1	20.0
10月29日	19.0	19.1	19.3	19.0					18.0	19.0	19.6
10月30日	18.9	19.0	18.9	19.0					16.3	14.2	19.0
10月31日	17.5	17.7	17.8	17.3					11.6	12.1	17.7
平均	21.4	21.5	21.5	21.7					19.2	18.9	21.7

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第19表
平成29年度 地温計測状況(第1ふ化場)

(11月分)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
11月1日	17.7	17.5	17.5	18.1					24.8	20.4	17.7
11月2日	17.8	17.7	17.6	17.9					20.7	19.1	17.9
11月3日	19.0	18.9	19.0	19.2					14.0	13.5	18.9
11月4日											
11月5日											
11月6日											
11月7日											
11月8日											
11月9日											
11月10日											
11月11日											
11月12日											
11月13日											
11月14日											
11月15日											
11月16日											
11月17日											
11月18日											
11月19日											
11月20日											
11月21日											
11月22日											
11月23日											
11月24日											
11月25日											
11月26日											
11月27日											
11月28日											
11月29日											
11月30日											
平均	18.2	18.0	18.0	18.4					19.8	17.7	18.2

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。



1 H29.8.1 初ふ化 7頭



2 H29.9.15 御前崎小学校子ガメ引渡し式



3 H29.11.17 高田代表・良知さん受賞



4 H29.11.20 ふ化場卵掘起し



5 H30.3.7 視察研修(豊橋市五波地区市民館)



6 H30.3.7 視察研修(蒲郡市竹島水族館)

写真9 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子 2

(2) アカウミガメ産卵観察会

アカウミガメ産卵観察会は、御前崎の貴重な文化財である自然動物のアカウミガメや、その保護活動をPRすることにより生命の尊さや自然保護、環境保護の意識の高揚を図ることを目的に行っている。

期 日 : 7月23日(日)～7月30日(日) 8日中8日間 実施
 会 場 : ウミガメふ化場・御前崎海岸(通称:下岬海岸)
 参加者数 : 延べ 630 人(最大一日参加者数:141 人)
 備 考 : 24 日に上陸・産卵が 1 頭。27 日に上陸のみが 1 頭。

第 20 表 アカウミガメ産卵観察会実績表

確認日	時間 20:00～	曜日	天候	上陸 場所	産卵 個数	発見 時間	甲長	甲幅	参加 人数	備 考
7月23日	21:40	日	曇	—	—	—	—	—	113 人	上陸なし
7月24日	22:30	月	曇	通り	131	20:30	86	70	38 人	JP80016 装着
7月25日	21:30	火	曇	—	—	—	—	—	53 人	上陸なし
7月26日	21:30	水	曇雨	—	—	—	—	—	22 人	上陸なし
7月27日	22:30	木	曇	海藻場	—	21:30	60	80	55 人	上陸のみ
7月28日	21:30	金	晴	—	—	—	—	—	107 人	上陸なし
7月29日	21:30	土	曇	—	—	—	—	—	141 人	上陸なし
7月30日	21:30	日	晴	—	—	—	—	—	101 人	上陸なし



1 アカウミガメ産卵

写真 10 アカウミガメ産卵観察会の様子

(3) アカウミガメ放流観察会

アカウミガメ放流観察会は、子ガメを通じて保護活動をPRすることにより、御前崎の貴重な文化財であるアカウミガメを広く知ってもらい、生命の尊さや自然保護、環境保護の意識の高揚を図る目的で行っている。

第 21 表 一般放流観察会実績表

放流日	曜日	天候	放流頭数	放流場所	参加人数	備考
8月25日	金	晴れ	83頭	下岬海岸	188人	
8月26日	土	晴れ	50頭	下岬海岸	286人	
8月27日	日	晴れ	61頭	下岬海岸	165人	

第 22 表 個別放流観察会実績表

放流日	曜日	天候	放流頭数	放流場所	参加人数	団体名
8月18日	金	晴	20頭	下岬海岸	36人	御前崎スマイルプロジェクト
8月19日	土	晴	36頭	下岬海岸	90人	黒潮サッカースポーツ少年団
8月21日	月	晴	51頭	下岬海岸	72人	さくらこども園
8月24日	木	晴	57頭	下岬海岸	101人	北こども園
8月30日	水	晴	112頭	下岬海岸	170人	高松幼稚園 御前崎こども園 白羽幼稚園



写真 11 アカウミガメ放流観察会の様子

4 「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更

現状変更箇所の地番 御前崎市御前崎地先
 許可申請者の名称 静岡県知事 川勝 平太
 事務所の所在地 静岡市葵区追手町9番6号
 着手及び終了の時期 平成30年1月9日
 平成30年2月28日
 施行者の氏名 静岡県袋井土木事務所長
 施工者の住所 静岡県袋井市山名町2番1号

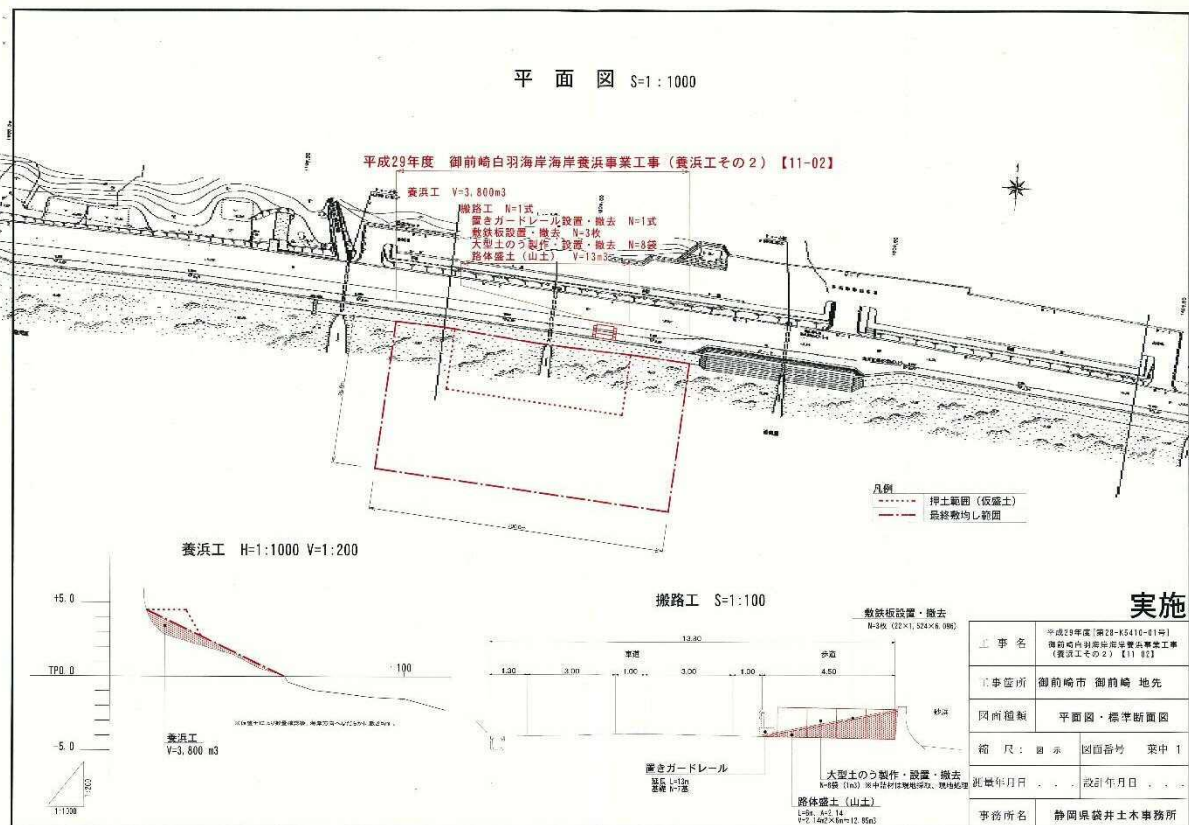


第8図 現状変更運搬経路図

浜地の侵食を防止するため、平成29年10月19日付けで静岡県知事川勝平太氏より御前崎市教育委員会社会教育課に「国指定天然記念物現状変更許可申請書」の提出があり、平成28年2月26日付けで文化庁長官(県文化財保護課経由)に進達した。平成29年11月17日付けで文化庁長官より、文化財保護法第125条第1項の規定によって許可すると許可書が通知され、申請者に伝達した。

① 現状変更等の内容及び実施の方法

御前崎港内の浚渫した砂を、ウミガメ巡視区域の指定箇所である3区の区域内に養浜(V=3,820m³)した。ダンプトラックにより、土砂を海岸へ直接投入する。その後、ブルドーザーにより、周辺地形と調和するように、なだらかに敷き均す。



第9図 平成28年度御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事(養浜工)平面図

(4) ウミガメ保護活動のまとめ

御前崎のウミガメ保護活動は、昭和 47 年に旧御前崎町教育委員会がウミガメ保護監視員を委嘱してから本格的な活動が始まった。その後、昭和 52 年に県の天然記念物に、昭和 55 年には国の天然記念物に指定された。平成 20 年度からは同じ御前崎市内のウミガメを保護する目的として、浜岡海岸のウミガメについても、ウミガメ保護監視員による保護活動を開始した。現在は、御前崎市教育委員会から委嘱された 8 名のウミガメ保護監視員が保護活動を継続している。

平成 26 年 4 月 1 日からは、アカウミガメが指定希少野生動植物に追加指定されるなど、保護活動のより一層の充実が求められる。

平成 29 年度におけるウミガメの上陸頭数・産卵個数は、例年よりやや少ない結果となった。御前崎の自然も年々変化し、海岸（産卵場）のゴミ問題や砂浜の減少等、ウミガメの上陸・産卵にとっては厳しい状況であることに変わりはない。

ウミガメが安心して産卵できる環境を整えるため海岸清掃や産卵地の巡視を実施するとともに、静岡県による養浜工が継続して行われている。しかし、平成 29 年 10 月に台風 21 号が上陸した際には、御前崎第 1 区の指定地内の海岸が埋まるほどの流木が漂着し、堆積していた砂が波により大量にえぐり取られた。今回のような大規模な災害による被害のみならず、風や波の影響で日常的に海岸が侵食されているのが、御前崎の産卵地における現状といえる。

ウミガメの種を保存していくことを第一に考えつつ、ウミガメから御前崎の自然や文化を伝達し、命の大切さや思いやりの心を少しでも多くの人たちに感じてもらえるように活動していきたい。

ウミガメ保護監視員等への励まし、貴重な御意見・御指導いただいた多くの方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからもウミガメ保護活動にあたたかい御支援・御協力をお願いいたします。



写真 12 御前崎のウミガメ及びその産卵地

2 県指定名勝「桜ヶ池」祭事用取付台の現状変更

県指定無形民俗文化財「桜ヶ池のお櫃納め」の日に使用する提灯やかたを固定するための祭事用取付台設置に伴う「県指定史跡名勝天然記念物現状変更等許可申請書」が、平成 29 年 11 月 21 日付で御前崎市教育委員会に提出された。平成 29 年 11 月 28 日付で副申を付けて静岡県教育委員会教育長に進達した。

提灯やかたは毎年参道の両脇に穴を掘って柱を設置し、そこに固定していた。しかし、それでは大勢の参拝者や見学者が来た際に、おされて倒れてしまう危険があることから、祭祀用取付台を常設で設置することが池宮神社で計画された。

現状変更の内容及び実施の方法は以下のとおりである。下地コンクリート、仕上洗い出しの幅約 26.5cm×厚さ 16.5cm の提灯館やかた(幅 2.8m)の取付台を社務所東側の参拝用の通路の両側を掘削し、基礎(深さ約 16.5cm)と取付台の根元を約 33cm 埋めて 1 基ずつ設置する。2 基の取付台の地上部分の高さは、どちらも 1m ほどである。

12 月 8 日付教文第 1577 号で、県指定名勝桜ヶ池の現状変更(祭事用取付台)が許可されたことから、平成 29 年 12 月 11 日から 12 月 22 日まで、設置工事が実施されて完了した。

そして、平成 29 年 12 月 25 日に池宮神社宮司の佐倉東武氏より静岡県教育委員会教育長宛てに、県指定名勝「桜ヶ池」祭事用取付台の現状変更の終了届が提出された。



1 祭事用提灯やかた取付台設置着手前



2 祭事用提灯やかた取付台設置予定箇所



3 祭事用提灯やかた取付台設置完了(北側から)



4 祭事用提灯やかた取付台設置完了(南側から)

写真 13 桜ヶ池の現状変更(祭事用取付台)

3 県指定名勝「桜ヶ池」遊歩道崩落箇所の現状変更

桜ヶ池遊歩道崩落箇所復旧工事に伴う「県指定史跡名勝天然記念物現状変更等許可申請書」が、平成 29 年 12 月 12 日付で御前崎市教育委員会に提出されたことから、平成 29 年 12 月 14 日付で副申を付けて静岡県教育委員会教育長に進達した。

県指定名勝「桜ヶ池」の周囲には、昔から遊歩道が整備されていた。しかし現在は、たび重なる台風等の風水害により、法面の崩落や木製橋梁が破損するなど大変危険な状態にあり、通行止めになっている。今後、桜ヶ池を活用するためには遊歩道を通行できるようにする必要があるため、平成 29 年度に桜ヶ池遊歩道崩落箇所復旧工事を行うことが宗教法人池宮神社で計画された。

12 月 27 日付教文第 1664 号で、県指定名勝桜ヶ池の現状変更(遊歩道復旧等)が許可されたことから、平成 30 年 2 月 12 日から 3 月 29 日までの期間に静岡県と御前崎市の文化財補助事業として、遊歩道の復旧等の工事が実施された。

現状変更の内容及び工事の方法は以下のとおりである。

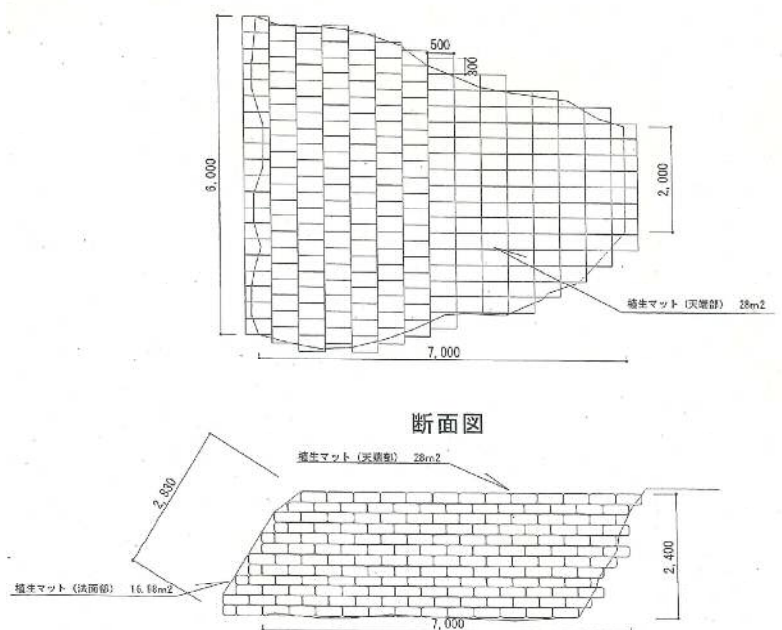
- ①遊歩道崩落箇所及び橋梁部①②崩落箇所に大型土のうを設置する。
- ②背面を良質土にて盛土する。
- ③普通土のう前面に金網を貼り付ける。
- ④金網の上に基盤材、接着材、種子、肥料を吹付機に投入し、攪拌装置で練り混ぜ吹き付ける。

なお、法面や通路の復旧工事を行うため、工事地点までは、500kg 積みモノレールを仮設で設置して、大型土のう等の資材や機材を運搬した。

すべての工事終了後、平成 30 年 3 月 30 日付で池宮神社宮司佐倉東武氏より静岡県教育委員会教育長宛てに、県指定名勝「桜ヶ池」遊歩道復旧等の現状変更終了届が提出された。

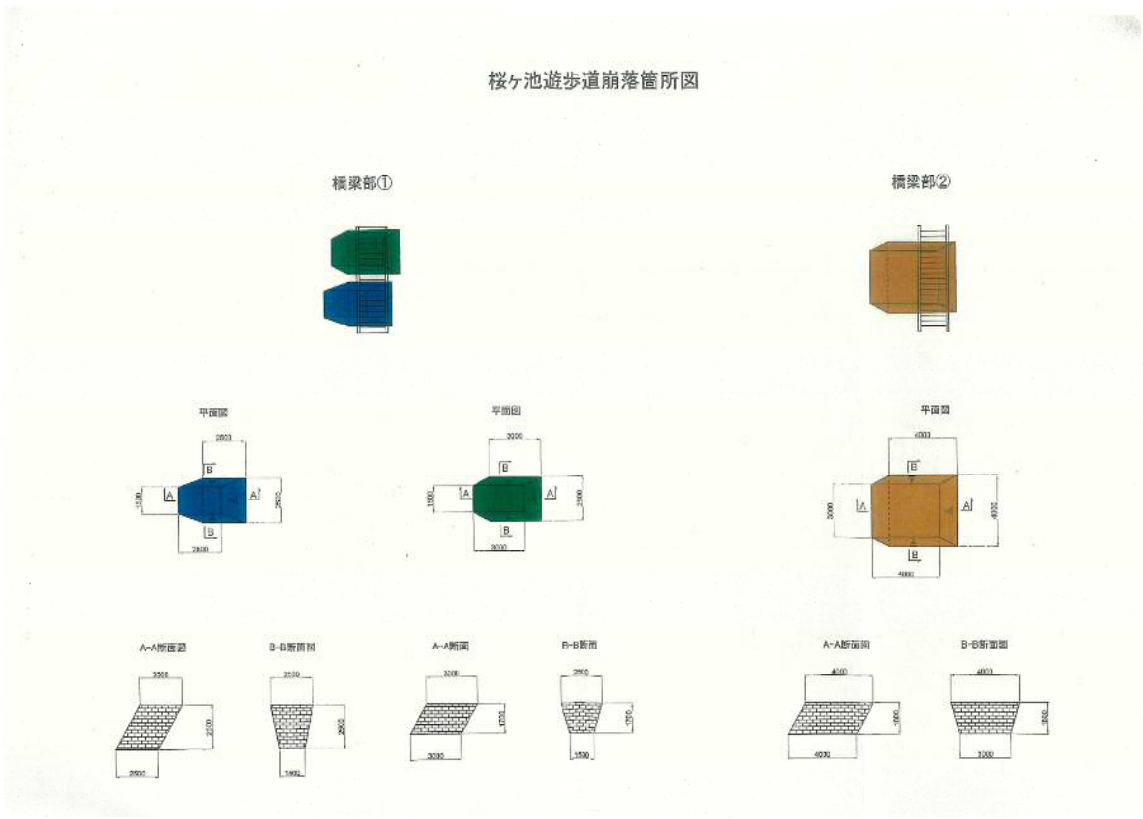


第 10 図 遊歩道崩落箇所復旧工事位置図



第 11 図 遊歩道崩落箇所復旧工事施工図

桜ヶ池遊歩道崩落箇所図



第 12 図 遊歩道橋梁部①・②崩落箇所復旧工事施工図



1 遊歩道崩落箇所復旧工事着手前



2 遊歩道崩落箇所復旧工事土嚢設置出来形検測



3 橋梁部①崩落箇所復旧工事着手前



4 遊歩道崩落箇所復旧工事土嚢設置目視確認



5 橋梁部②崩落箇所復旧工事着手前



6 橋梁部復旧工事土嚢設置目視確認検査

4 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の損傷及び維持の措置

平成 29 年 3 月 29 日に賀茂神社から比木賀茂神社社叢内にある賀茂神社の御神木のスダジイ(大径木 No. 90)の太枝が折れたとの連絡があった。

その後、業者に確認したところ、他の枝についても枯れて脆くなっていることが判明した。

そのため、4 月 10 日に県指定文化財損傷届を静岡県教育委員会に提出し、造園業者に委託して、御神木のスダジイの折れた太枝の除去と枯れている枝の剪定もして、維持の措置とした。



1 着手前



2 完了後



3 着手前



4 完了後



5 着手前



6 完了後

写真 15 比木賀茂神社社叢御神木の選定作業 1



1 着手前



2 完了後



3 着手前



4 完了後



5 剪定作業 1



6 剪定作業 2



7 搬出作業



8 枝払い作業

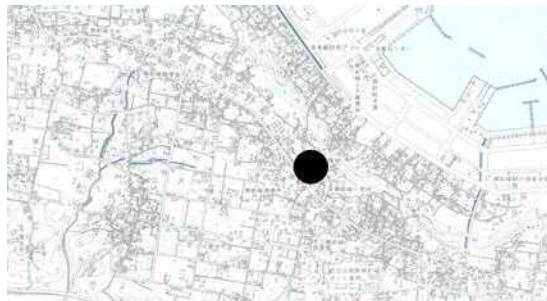
写真 16 比木賀茂神社社叢御神木の選定作業 2

5 市指定天然記念物「いちょうの木」の樹勢衰退要因等解析調査

(1) いちょうの木の樹勢衰退要因等解析調査に至る経緯

海福寺に所在している御前崎市指定天然記念物「いちょうの木」の傾斜が大きくなり、主幹に縦に大きな亀裂が見られるようになったため、所有者の海福寺の住職から、樹木医による調査をしてほしいとの依頼があった。

そのため、4月12日に樹木の専門家で組織された特定非営利活動法人「郷里の自然を育む会」の樹木医である芹澤節夫氏に依頼して、いちょうの木の樹勢現況及び衰退要因等についての解析調査を実施していただいた。その調査結果は以下のとおりである。



第13図 いちょうの木の位置(1/25,000)

(2) 御前崎市指定天然記念物「いちょうの木」樹勢現況及び衰退要因等解析調査報告書

調査年月日 2017年4月12日

特定非営利活動法人 郷里の自然を育む会

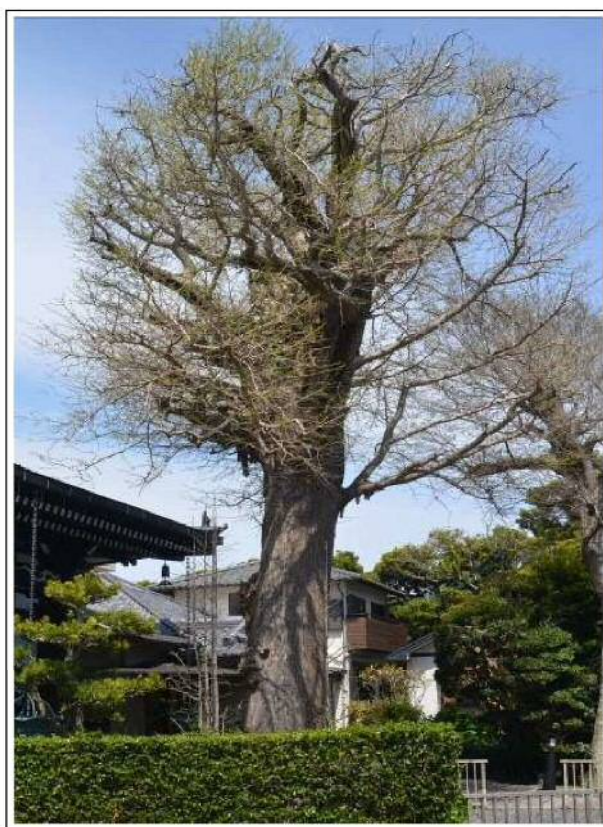


写真17 樹木名:イチョウ

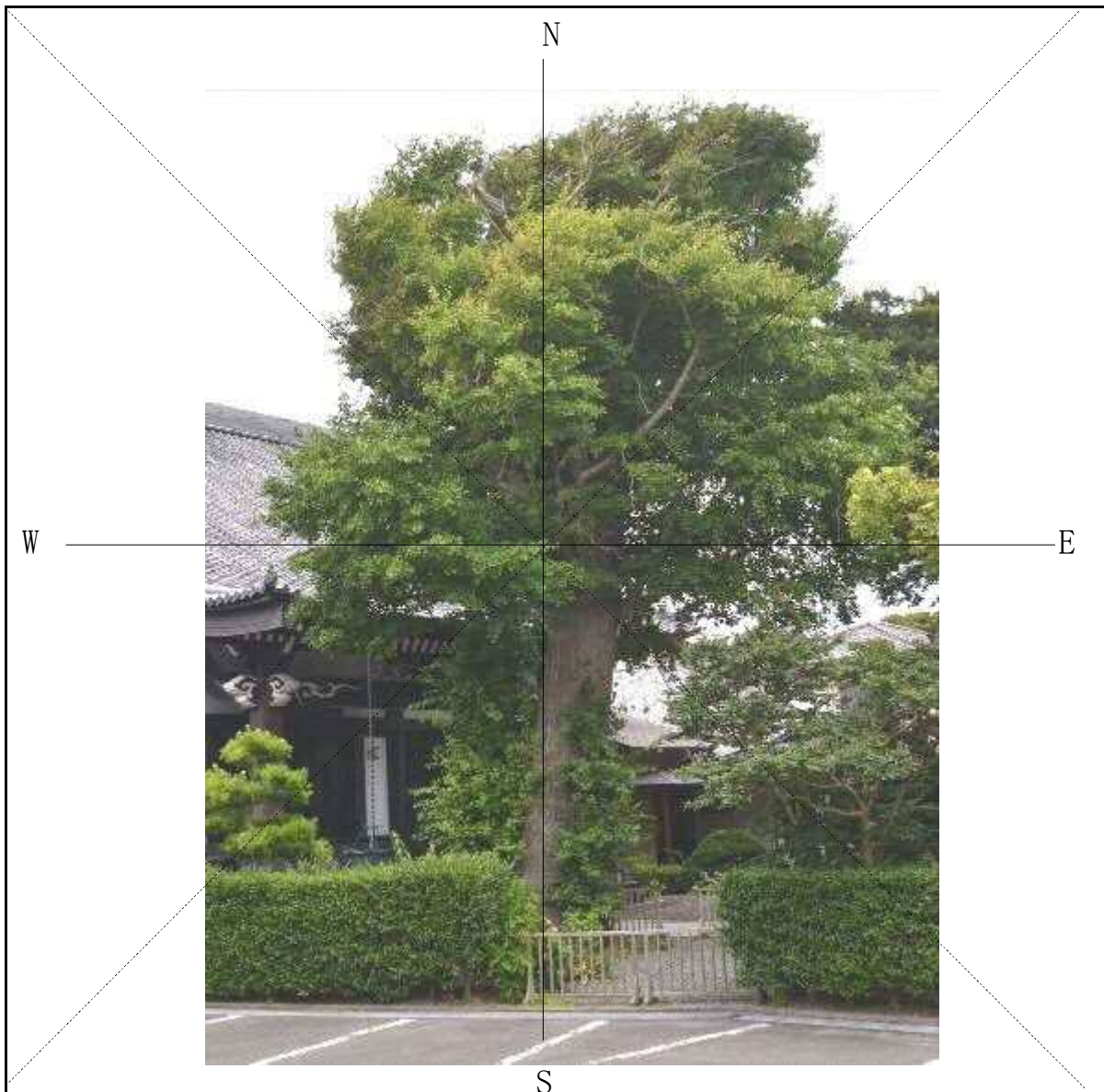
御前崎市指定天然記念物(1973年10月18日)

1. 周辺環境概要



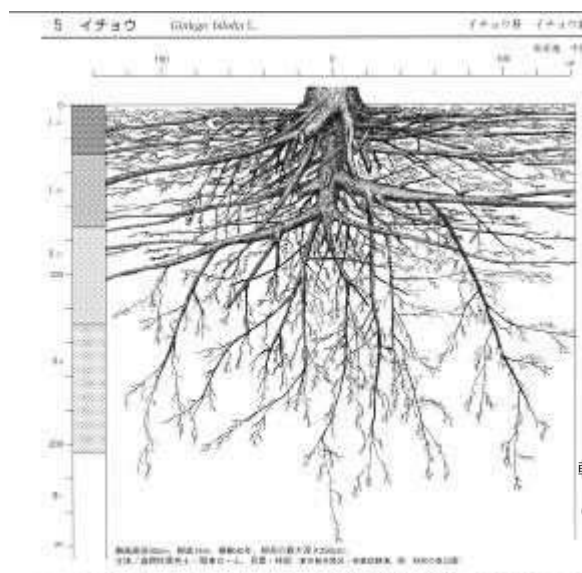
本堂に至る参道の左右に比較的古い樹木が生長しており、なかでも樹齢150年を超えるイチョウはひときわ目立つ。

陽当りは良く境内は清掃が行き届いている。樹冠投影図の写真に示すように、イチョウの枝葉は東側になびいており、強い西風～北西の風当たりが推察される。2017. 7. 17調査



- 2. 樹冠投影図 (2017. 7. 17 調査)
 - 3. 概況
 - 4. 根系の状態
- イ
チ
ョ
ウ
の
基
本
根
系
図

樹 齢	一 年	樹齢，根周り，枝下高，樹姿等の概況は2008年の調査
根 周	6.30m 地上高 20cm	報告書(資料1)と大きい差異はありません。枝張りは台風
胸高直径	1.35m 地上高120cm	被害による整枝工事の完了確認報告書(2010年3月提出:資
樹 高	14.0m	料2)で示したとおり、概ね均整がとれた樹形になってい
枝張 東	6.7	ます。枝下高，樹姿ともに大きい違いはありません。
西	4.8	クスノキの南東7.2mに胸高直径72cmのクロガネモ
南	4.4	チ、南7.8mに同44cmのクスノキ、同じく南10.2mに
北	3.4	同46cmのヤマモモが植栽されています。
枝 下 高	以前と同じ	2008年当時との大きい違いは、次の2点です。
樹 姿	以前と同じ	① 南側に株立ち樹が2本生長しており、枯死している
樹幹は東に5度前後 傾斜し、樹幹を挟んで 南北に株立樹が生長し ている。東側の傾斜に 対抗する西側の引張り 根は損傷が激しい。		株立ち樹1本が見られる。北側にも同じく樹5本が生長
		しており、そのうちの1本は地際で3本が癒着している。
		東側に株立ちの幼樹1本が見られる。
		② 樹幹南側に亀裂：高さ4.0m，幅Max4.5cm，深さ
	35cm、樹幹北側に同じく2.2m，2cm，3cmの亀裂が生	
		じている。…写真2,3参照



転載：最新樹木根系図説
(2010年11月) 荻住 昇著

深根性で根系の支持力が大きいので、土壤環境が良ければ根は地下3mに及ぶ。土壤病害として、根株を腐朽させる紫紋羽病に罹病するが、当該イチョウの樹には病害の発生は認められない。

樹幹は東側に5度前後傾斜するが、反対の西側には倒壊を支える引っ張り根がある(資料1 p.6参照)ものの損傷を受けており、健全な肥大生長はみられない。

5. 被害査定（樹勢への影響度：●>◎>○、±、－）

査定項目	影響度	概要
病虫害		
材腐朽	●	心材腐朽菌による根株の腐朽と樹幹の腐朽による空洞化。
獣害		
薬害		
気象災害		
大気汚染		
生理障害		
土壌障害		
その他		
（断根）	●	上記根株の腐朽は、参道などの整備に伴う断根が窺われる。
（肥料）		
（深植）		
（踏圧）		
（被圧）	－	

6. 被害解析

腐朽	<p>根株の腐朽は東側で特に激しいが、概ね根株全体を一周しており、樹幹の南、北に生長する株立ち樹は、生き残っている大系根から生長しているものと推察される…写真1、2008年の調査資料では根株付近に叢生幼樹として見られる。現在10年生樹のこれらの株立ち樹のうち、南側では1樹の枯死が認められ…写真2、根株腐朽が引続き進行していることが窺われる。</p> <p>項目4. のイチョウの根系図で推定すると、根株の腐朽と、樹幹の上部損傷によって生じた心材腐朽による空洞化は、樹幹の支持力を大きく損なっている。</p> <p>南側と北側の大系根から発生している株立ち樹はあるが、いずれの側の樹幹にも、2008年調査では認められなかった縦の亀裂を生じている。…写真2、3</p> <p>南北の比較的健全な大系根が西側の引張り根とともに樹幹の半分：南～西～北側を支え、根株が激しく腐朽損傷し支持力が</p>
----	--

	<p>減退した樹幹の半分：南～東～北の傾倒に抵抗するかたちで、亀裂を生じているものと推察される。</p> <p>亀裂を生じた樹幹組織を観察すると、南側では修復するための新組織の発達はごく部分的であるのに比べ、北側では帯状に発達しており、株立ち樹の葉色、樹勢も南側に比べ優っている。</p>
	<p>しかしながら、樹冠を整枝により小さくし樹幹に及ぼす荷重負担を軽減しても、樹幹頂部から根株に至る空洞化などの損傷と根株腐朽は修復し難く、少なくとも樹幹の東西の中央より東側は、いずれは幹裂けなどにより倒壊することが予想される。</p>

7. 樹体等観察図解

植栽環境および樹形現況等は、写真参照。

8. 総合評価

1) 樹冠上部の大きい損傷部は2010年にタイベック+金網で被覆しましたが、その他にも強風による折損か所からの腐朽が多数か所見られます。…写真4, 表紙参照

2) 新たに樹幹の南北に亀裂を生じており、経験上、幹裂けの危険があるので亀裂の長さや幅の拡大経過に呉々も注意が必要です。

3) 以上、樹の損傷の程度と特に根株腐朽の様子を通覧しますと、支持力が低下しており強い風圧が加わると倒木の危険がありますので、次の提案をします。

① 健全なイチョウ樹の再生に積極的に早く踏み出すため、伐採し北側の株立ち樹を2代目として適切な場所に移植し、育成します。その後は、適正に維持管理を行っていきます。

② 現状のまま維持します。この場合、樹冠上部を整枝し荷重を減らす、幹裂け防止のため幹にワイヤー、耐久性ロープ等を巻く(ケーブリング)、本堂への倒木予防のため南東のクロガネモチ、南側のクスノキ、ヤマモモとワイヤーロープで結ぶ(ブレーシング)、現在の被覆部分の破れの修復、以上4点の工事を行います。亀裂の状況によっては、早晚、伐採の検討が必要になります。

9. 写 真

1. 根株の状態



東側：組織は腐朽し樹皮が剥離し始めている。木質部にも支持力はない。



西側：東側への樹幹の傾倒に抗し、通常は引張り根が発達するが、枯死また損傷しており、肥大は見られない。



南側：地際付近の組織は腐朽しているため新梢の発生は見られない。地中の根から株立ち樹が生長している。



北側：南側と同じく樹幹の地際組織からの新梢の発生はなく、地中の根からの株立ち樹が生長している。

2. 樹幹南側：樹幹の亀裂(黄矢印)と枯死した株立ち樹(右 赤矢印)



7月



4月



4月の一部拡大：新組織の形成(青矢印)は一部分。

3. 樹幹北側：樹幹の亀裂(黄矢印)と亀裂部分での新組織形成(青矢印)



7月



4月



4月の拡大：新組織は帯状に形成されている。



4. 被覆か所以外の樹冠上部の損傷が多い。

6 市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」遊歩道の整備及び看板の新設

薩田ヶ谷横穴群は、古墳時代後期から奈良時代前期(6世紀中頃から8世紀)の家族墓で6基の横穴がある。昭和39年度に御前崎市内ではじめて本格的な発掘調査が実施された遺跡で、静岡県内の考古学界においても学史的に有名な遺跡であることから御前崎市の史跡に指定されている。その後、平成14年度に浜岡町史編さん事業の一環として、横穴の清掃調査と墓前域の発掘調査が実施されている。

しかし、遊歩道等が整備されていなかったため、最近まで一般の方々の現地の見学は困難であったが、平成29年度に佐倉地区宮内の団体である「宮内倶楽部」の皆さんの協力により、薩田ヶ谷方面から薩田ヶ谷横穴群に登ることができる遊歩道が整備された。

遊歩道の整備に必要な原材料である丸太擬木などについては御前崎市が宮内倶楽部に提供した。また、並行して薩田ヶ谷横穴群への誘導看板を御前崎市宮内890-5付近の法定外道路入口付近に平成30年2月15日付け第3-29-15号で法定外道路占用許可を受け、平成30年3月25日に看板の設置が完了した。

さらに、土地所有者の承諾を得て薩田ヶ谷横穴群の近くに説明看板を設置するとともに、落石等の危険があるため各横穴の入口付近に横穴内部への侵入禁止看板を設置した。



1 遊歩道整備状況 1



2 遊歩道整備状況 2



3 遊歩道整備状況 3



4 遊歩道整備状況 4

写真 18 薩田ヶ谷横穴群遊歩道の整備状況



1 薩田ヶ谷横穴群誘導看板(遠景)



2 薩田ヶ谷横穴群誘導看板(近景)



3 薩田ヶ谷横穴群説明看板(近)



4 薩田ヶ谷横穴群説明看板(遠景)



5 横穴内部進入禁止看板

写真 19 市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」誘導・説明等の新設

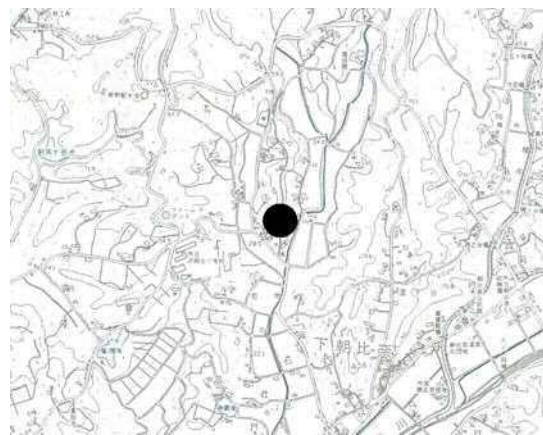
7 市指定有形文化財「岩地正八幡神社本殿」の蟻害腐朽検査

(1) 蟻害腐朽検査に至る経緯

平成 29 年 10 月 10 日付けで御前崎市教育委員会社会教育課に、無料で実施する文化財(建造物)の蟻害・腐朽検査についての照会が、静岡県教育委員会文化財保護課を經由して一般社団法人中部地区しろあり対策協会静岡県支部(静岡県しろあり対策協会)からあった。

社会教育課では、市指定有形文化財(建造物)に最近指定されたため、文化財(建造物)の蟻害・腐朽検査を実施していない岩地正八幡神社本殿の所有者に希望の有無を確認したところ、希望していただいたことから、同年 10 月 15 日付けで静岡県教育委員会文化財保護課に回答した。

その後、蟻害・腐朽検査の実施が決定し、平成 30 年 3 月 14 日に岩地正八幡神社本殿の検査が実施された。



第 14 図 岩地正八幡神社本殿の位置
(1/25,000)

(2) 岩地正八幡神社本殿の蟻害・腐朽検査報告書



調査実施日 平成 30 年 3 月 14 日(水)

公益財団法人 日本しろあり対策協会

一般社団法人 中部地区しろあり対策協会

静岡県支部(静岡県しろあり対策協会)

下記の建物に関して(公)日本しろあり対策協会制定による「蟻害・腐朽診断マニュアル」を参考にし、主に床下部分の木部の蟻害及び腐朽の検査・診断を行った。結果はを下記の通り報告する。

〈特記〉 (公)日本しろあり対策協会制定による「蟻害・腐朽診断マニュアル」および「文化財建造物の蟻害腐朽検査マニュアル」に基づいて、検査を行った。また、同マニュアルでは検査箇所を床下のみに限らず、小屋裏等も含まれているが、当検査では時間等の制約もあり、検査範囲は主に床下部分とした。

尚、マニュアルで検査対象となっているカンザイシロアリは当該地域では正式に生息は確認されていない。またシロアリ以外の木材食害性昆虫、シバンムシ、ヒラタキクイムシ等については、検査・診断対象区域を床下とした為、被害の有無にとどめた。

〈注意〉 ①この蟻害・腐朽検査診断報告書の記載内容は、検査・診断時点から時間経過による変化がないことを保証するものではない。
②本蟻害・腐朽検査診断報告書の内容は、原則として非破壊による目視、打診、触診に基づいて、特殊な器具を用いず一般的な方法で観察できる範囲について実施した検査結果を前提としている。

調査物件について

1	建物の所有者	岩地正八幡神社保存会
2	建物の名称	岩地正八幡神社本殿
3	建物の所在地	静岡県御前崎市下朝比奈岩地 239-2
4	指定の別	御前崎市指定有形文化財
5	検査日時・天候	平成30年3月14日(水) 天候 晴れ
6	検査員名簿	検査員 (株)河原崎商事 河原崎 亮 蟻害・普及診断士番号 静岡県-10-0046 防除士番号 11459

7 岩地正八幡神社本殿 建物概要

本建物は覆い屋の内部に安置されている。

①構造形式

一間社流造で、一部着色が認められる。屋根はこけら葺き。

最下部に土台を廻して、その上に建物は建つ。身舎柱(円形)と向拝柱(方形、几帳面取り)を立て、海老虹梁にて繋ぐ。木階五級を備え、正面のみ切り目縁を付している。妻飾りは虹梁を渡し墓股を載せ、柄を立てますが束の三方に木鼻を組む。

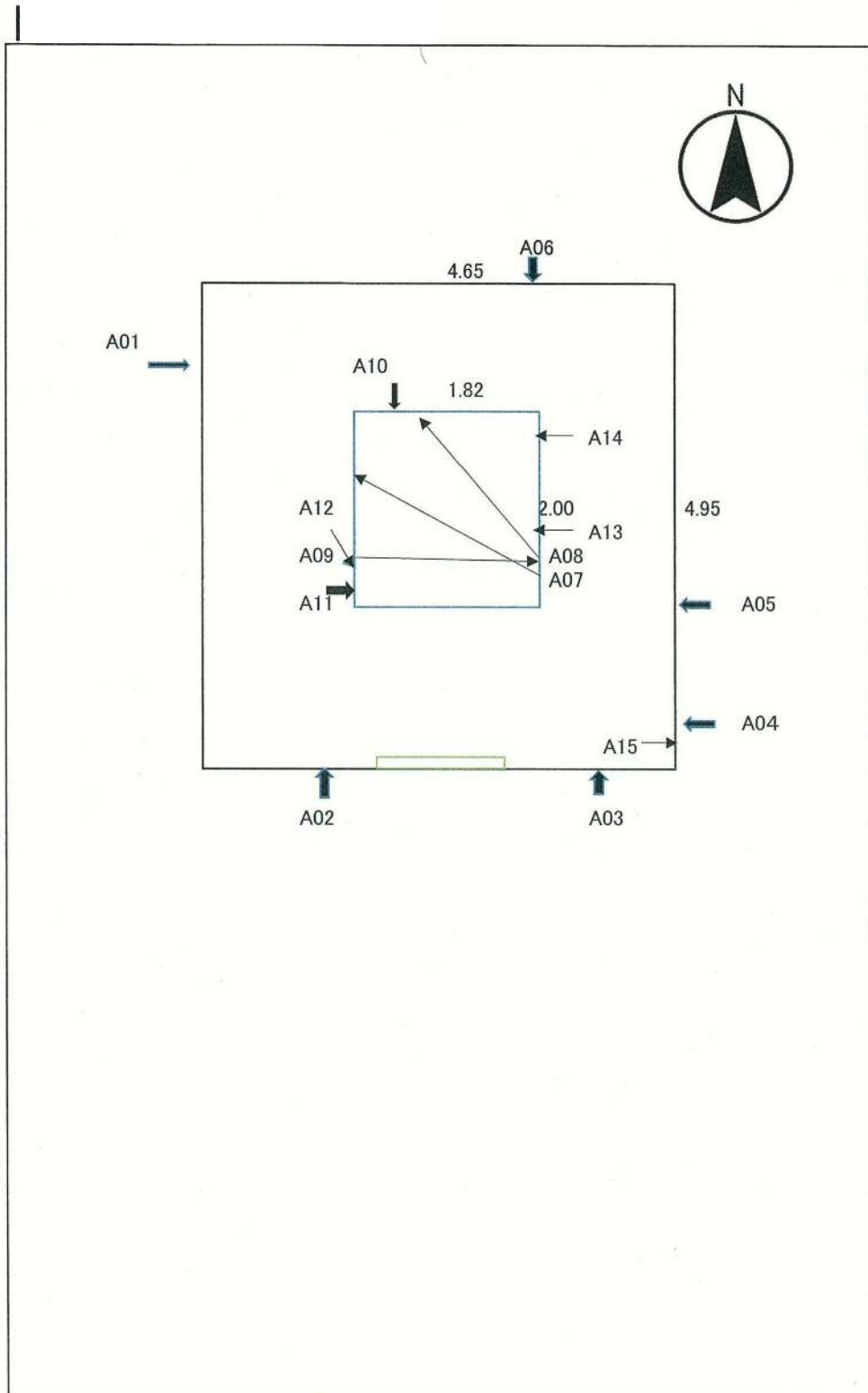
身舎柱上に組物を載せて虹梁と側桁を支える。向拝正面水引虹梁上に墓股を置く。

水引虹梁の端部は象鼻様の木鼻を造る。

破風の拌みに蕪懸魚を吊り、両側に鱗を付ける。

②過去の修復履歴

棟札によると、宝永五年(1708)のもの、その後の明和七年(1770)の年紀を有するものの2種類が残されている。細部意匠彫刻はやや古い状況を見せており、宝永五年に造営した本殿を約六十年後に屋根葺き替えに伴って大規模に修理したことも想定される。



第 15 図 岩地正八幡神社平面図

第 23 表 調査集計表

NO.	シロアリ被害有無		腐朽有無	含水率(%)	コメント
	被害	進行中			
A001	—	—	—	11.9	土台にアナバチの痕あり。
A002	●	—	—	10.7	古いシロアリによる被害確認。
A003	—	—	—	11.6	土台にアナバチの痕あり。
A004	—	—	—	13.1	苔の発生がみられる。
A005	—	—	●	14.5	腐朽による被害がみられる。
A006	—	—	—	13.2	苔の発生がみられる。
A007	●	—	●	—	内部目視のみ。土台に古いシロアリによる被害。
A008	●	—	●	—	内部目視のみ。土台に古いシロアリによる被害。
A009	●	—	●	—	内部目視のみ。土台に古いシロアリによる被害。
A010	—	—	—	16.1	下見板に汚れ有り。
A011	●	—	—	11.3	下見板に古いシロアリ被害。キクイムシ痕確認。
A012	—	—	—	13.6	キクイムシ、シバンムシ被害痕確認。
A013	—	—	—	12.5	汚れあり。
A014	—	—	—	14.8	汚れあり。
A015	—	—	—	12.7	雨水による雨染みあり。

③所見

御前崎市にある、岩地八幡本殿の調査に入らせて頂きました。

本建物は覆い屋の内部に安置されており、普段は閉め切りになっております。

覆い尾内部にあるため、雨には濡れないようになっていますが、覆い屋内部の壁にも雨滲みが見られる事から、時期や天候によっては湿気がこもる事が考えられる。

本殿床下においても、内部は侵入できないため、現在はシロアリの消息は確認出来ないが、最下部土台には広い範囲で食害痕、腐朽被害が見られる。昔の被害と思われるが、閉め切っていることが多く、風も通らないため今後も被害に合う可能性があると考えられる。

以上のことより、風通しをよくするよう開放する回数を増やしたり、場合によっては防蟻防腐の対策も考慮する必要があると感じる。



写真 20 岩地正八幡神社本殿の蟻害・腐朽検査の写真

8 市立図書館の収蔵庫・地域行政資料室収蔵資料燻蒸処理業務

(1) 燻蒸処理業務の概要

御前崎市立図書館の収蔵庫及び地域行政資料室には、御前崎市教育委員会社会教育課が収集した古文書や古写真等の文化財資料が多数収蔵されている。これらの文化財資料は紙などの有機素材でできているものが多いため、害虫による加害やカビによる被害が発生している。御前崎市立図書館の収蔵庫及び地域行政資料室では貴重な文化財資料の保存を図る必要があることから、密閉した空間にガス状にした薬剤を充満させて殺虫や殺菌を行う燻蒸処理を関東港業株式会社に委託して実施した。

御前崎市立図書館の収蔵庫・地域行政資料室収蔵資料燻蒸処理業務の概要は以下のとおりである。

(2) 業務概要

委託者 御前崎市 柳澤重夫

業務名称 平成 29 年度文化財保護事業

御前崎市立図書館の収蔵庫・地域行政資料室収蔵資料燻蒸処理業務

施工場所 静岡県御前崎市池新田 5585 番地 御前崎市立図書館

受託者 東京都港区芝浦 4-17-11 関東港業株式会社 文化財保存対策事業部長 高木慎吾

施工事業所 横浜市金沢区幸浦 1-2-4 関東港業株式会社 横浜事業所

実施年月日 自 平成 29 年 12 月 28 日 至 平成 30 年 1 月 3 日(7 日間)

施工対象 収蔵庫(243 m²)地域行政資料室(502 m²)

施工目的 殺虫、殺卵、殺カビ

施工方法 密閉燻蒸施工

使用薬剤 殺虫殺菌燻蒸剤『アルプ』

(公財)文化財虫菌害研究所認定薬剤

登録番号 第 15 号

基準投薬量 72g/m³

使用薬量 収蔵庫 17.5kg

地域行政資料室 36.1kg

燻蒸時間 48 時間

投薬方法 間熱気化器を使用した完全ガス化投薬

排気方法 高濃度ガス:活性炭除毒装置を使用した除毒排気

低濃度ガス:軸流扇に風管を接続し、屋外強制排気

供試虫 Sitophilus zeamais コクゾウ

供試菌 Aspergillus niger IAM2105 黒色麹菌



写真 21 希釈器の設置(収蔵庫)



1 希釈器の設置(地域行政資料室)



2 防暴型排気ファンの設置(収蔵庫)



3 防暴型排気ファンの設置(地域行政資料室)



4 扉口密閉(収蔵庫)



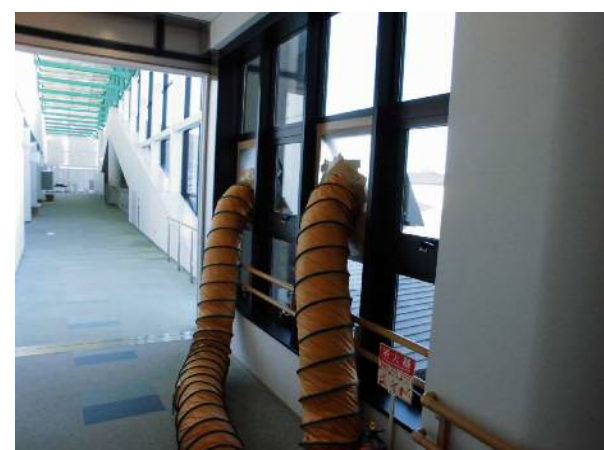
5 投棄作業



6 館内の漏洩点検



7 写真 除毒排気



8 屋外へ強制排気(収蔵庫及び地域行政資料室)

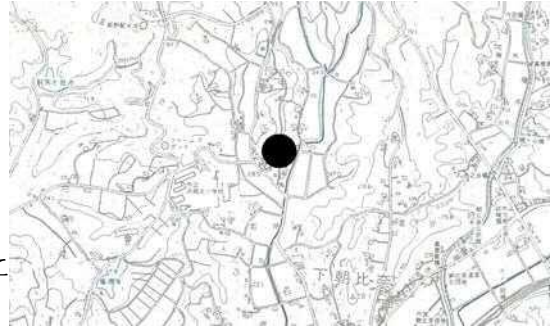
写真 22 御前崎市立図書館収蔵庫及び地域行政資料収蔵資料室の燻蒸処理業務

9 文化財看板の新設・修繕工事等

(1) 岩地正八幡神社本殿・神像看板新設工事

- 1 施工年月日 平成 30 年 2 月 6 日
- 2 施工場所 御前崎市下朝比奈字岩地 239-2
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

岩地八幡神社の本殿と神像は、平成 27 年 12 月 25 日に指定されたことから、岩地八幡神社境内の本殿の近くに、岩地八幡神社の本殿と神像の看板を新設した。



第 16 図 岩地正八幡神社の位置(1/25,000)



写真 23 岩地八幡神社本殿・神像看板設置前

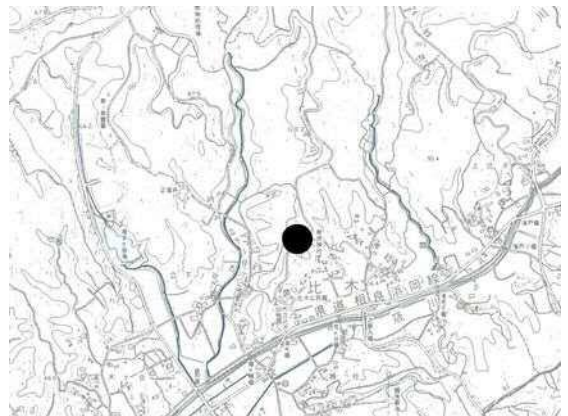


写真 24 岩地八幡神社本殿・神像看板設置後

(2) 比木賀茂神社社叢遊歩道順路看板の取替工事

- 1 施工年月日 平成 30 年 3 月 15 日
- 2 施工場所 御前崎市比木 2815 番地
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

取替前の説明看板は、比木賀茂神社社叢が県指定天然記念物に指定された平成 9 年度に設置されたもので設置されてから 20 年近く経過しているため劣化が進んでいた。また、平成 29 年の秋の台風による倒木の際に、看板に一部接触したものと思われ、順路部分が破損したことから、取替工事を実施した。



第 17 図 賀茂神社社叢の位置(1/25,000)



写真 25 遊歩道順路看板の状況



写真 26 新たに設置した遊歩道順路看板

第 24 表 平成 29 年度 県指定天然記念物

比木賀茂神社社叢樹木名盤設置樹木一覧表

No.	樹 木 名	ラベルの種類	種 類	サイズ	大径木 番号
1	モッコク	角解説ラベル	スチールボール	L=800mm	1
2	テイカカズラ	角解説ラベル	スプリング	100mm	
3	テイカカズラ	角解説ラベル	スプリング	100mm	
4	サカキ	角解説ラベル	スプリング	1000mm	
5	イチイガシ	角解説ラベル	スプリング	2000mm	48
6	モチノキ	角解説ラベル	スプリング	1000mm	54
7	ミズバイ	角解説ラベル	スプリング	200mm	
8	オガタモノキ	角解説ラベル	スプリング	200mm	91
9	クロガネモチ	角解説ラベル	スプリング	500mm	98
10	イチイガシ	角解説ラベル	スチールボール	L=800mm	112
11	カゴノキ	角解説ラベル	スプリング	1000mm	111
12	タイミンタチバナ	角解説ラベル	スプリング	100mm	135
13	クスノキ	角解説ラベル	スプリング	100mm	
14	サカキカズラ	角解説ラベル	スプリング	100mm	
15	スダジイ	角解説ラベル	スプリング	500mm	158
16	アカマツ	角解説ラベル	スプリング	500mm	
17	イズセンリョウ	角解説ラベル	スチールボール	L=800mm	
18	ジュズネノキ	角解説ラベル	スチールボール	L=400mm	
19	ジュズネノキ	角解説ラベル	スチールボール	L=400mm	
20	ネズミモチ	角解説ラベル	スチールボール	L=400mm	
21	サカキカズラ	角解説ラベル	スプリング	100mm	
22	クスノキ	角解説ラベル	スチールボール	L=400mm	
23	トキワガキ	角解説ラベル	スチールボール	L=400mm	
24	ツルグミ	角解説ラベル	スチールボール	L=400mm	
25	イチイガシ	角解説ラベル	スプリング	1000mm	349

(3) 比木賀茂神社社叢樹木名盤の購入

- 1 購入年月日 平成 30 年 1 月 30 日
- 2 設置場所 御前崎市比木 2815 番地
- 3 購入業者 アボック社
- 4 購入理由

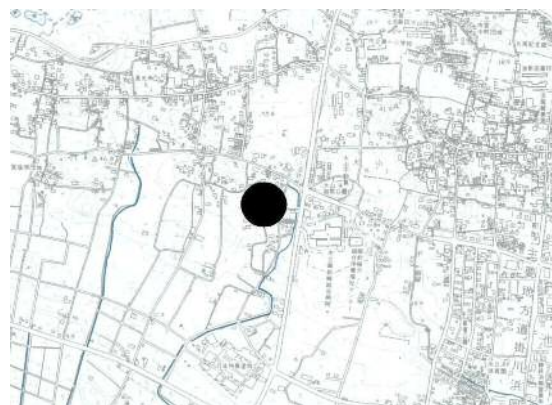
比木賀茂神社社叢樹木名盤は、樹木の学名や和名、説明が記載された植物名ラベルのことで、平成 9 年度に比木賀茂神社社叢が静岡県指定天然記念物に指定された際に他の看板とともに整備されたものである。主に比木賀茂神社社叢の大径木に設置されているもので、設置してから 20 年以上の年月が経っている。

そのため、付属品のスプリングやスチールボール等も含めて樹木名盤が汚れたり、樹木から外れてしまったりしたものについて、新たに購入して設置することとした。なお、樹木への設置については、地元の比木賀茂神社自然公園管理運営委員会に依頼した。

(4) 駒止観音堂誘導看板取替工事

- 1 施行年月日 平成 30 年 3 月 20 日
- 2 施行場所 御前崎市池新田
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

駒止観音堂は、静岡新聞社・SBS 静岡放送主催の『ふる里まるごとウォーク』のコースになっていることから、平成 8 年 7 月 17 日に説明看板や誘導看板を教育委員会で設置した。しかし、設置してから 20 年以上経過したことから、誘導看板が劣化したため、取替工事を実施した。



第 18 図 駒止観音堂の位置(1/25,000)



写真 27 旧駒止観音堂誘導看板の状況



写真 28 新たに設置した駒止観音堂誘導看板

10 文化財防火デー

昭和 24 年 1 月 26 日に、法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことから、この日が「文化財防火デー」と定められた。貴重な文化財を火災や震災などから守るため、この日を中心に全国各地で、文化財の防火訓練が行われ、国民の文化財愛護意識の高揚が図られている。

御前崎市でも平成 30 年 1 月 27 日に、市指定有形文化財「駒形神社本殿」の境内地において、消防本部、消防署、地元消防団、高松神社関係者及び市文化財保護審議会委員などが参加して放水訓練等が実施された。



第 19 図 駒形神社本殿の位置(1/25,000)



1 消防署職員による消防用ホース延長訓練



2 消防署職員による放水訓練



3 消防団員による放水訓練



4 消火器の使用訓練

写真 29 高松神社消防訓練風景

11 御前崎市文化財保護審議会

御前崎市文化財保護審議会は、平成16年4月1日に施行された「御前崎市文化財保護条例」及び「御前崎市文化財保護審議会条例」に基づき同年4月に設置された。同会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議し、これらの事項に関して教育委員会に答申することを目的とする。

(1) 委員の構成（任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日）

役職名	氏名	就任年月日	地区
会長	大須賀 春 爾	H28. 4. 1 (H 3. 4. 1)	御前崎
副会長	清 水 芳 治	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	佐 倉
委員	中 山 貞 雄	H28. 4. 1 (H16. 4. 1)	白 羽
委員	齋 藤 正 敏	H28. 4. 1 (H21. 4. 1)	白 羽
委員	増 田 竹 雄	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	御前崎
委員	清 水 富 夫	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	池新田
委員	橋 本 益 利	H28. 4. 1 (H24. 4. 1)	比 木
委員	河原崎 重 治	H28. 4. 1 (H25. 4. 1)	朝比奈
委員	渥 美 周 逸	H28. 4. 1 (H25. 4. 1)	新 野

*就任年月日の（ ）は、旧町からの初就任年月日を示す

(2) 文化財保護審議会視察研修

視察研修は、文化財保護の研究・活用及び委員の資質向上を目的として行っている。本年度は、御前崎市と友好都市になっており、女城主井伊直虎ゆかりの地としても御前崎市とゆかりのある長野県下伊那郡高森町の歴史民俗資料館や文化財を視察した。

日 程 平成29年11月9日（木）

視察先 高森町歴史民俗資料館・松源寺・松岡城跡



1 高森町文化財調査員との交流会



2 高森町歴史民俗資料館の視察風景 1



3 高森町歴史民俗資料館の視察風景 2



4 松源寺の視察風景 1



5 松源寺の視察風景 2



6 松岡城跡の視察風景

写真 30 文化財保護審議会視察研修

Ⅲ 文化財活用啓発活動

1 埋蔵文化財出張授業

埋蔵文化財出張授業は開催希望があった小・中学校や公民館などに訪問して下表のような体験学習を中心としたカリキュラムを実施し、市民に埋蔵文化財を見て、触れて、体験してもらい、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。

平成 29 年度は、新野未来塾より埋蔵文化財出張授業の開催依頼があり、「新野左馬助公の里」新野において開催する「第 4 回森と親しむ！ 新緑満喫ハイク」で古墳時代から戦国時代までの史跡をめぐりながら、天ヶ谷古墳、天ヶ谷の城平及び新野左馬助公展示館の古代史展示コーナーの説明をする講座を平成 30 年 3 月 10 日の午前中に開催した。当日は、約 20 名の参加者が説明を聞きながら新野地区の史跡等をめぐった。

2 市内イベントにおける埋蔵文化財体験学習ブースの開設

(1) 御前崎市大産業まつりににおける埋蔵文化財体験学習

① 日 時 平成 29 年 11 月 25 日(土)・26 日(日)

② 場 所 御前崎市役所西側通路

教育委員会社会教育課では、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育むことを目的として、御前崎市大産業まつりにおいて「原始工房 縄文屋」という名称で昔の火起こし体験、勾玉づくり体験ができるコーナーを開設した。

今年度は 11 月 25 日(土)と 26 日(日)の 2 日間の開催し、昔の火起こし体験が 1 日目が 61 名、2 日目が 68 名の合計 129 名、勾玉づくり体験が 1 日目が 29 名、2 日目が 26 名の合計 55 名の子供や親子の参加が得られた。

また、今年は直虎応援プロジェクト事業のブースも隣に出店したことから、原子工房縄文屋のブースでもそれに関連し『井伊家を救った武将 新野左馬助の足跡』と『新野左馬助公の御人格を偲びて』を販売した。



1 火起こし体験風景



2 勾玉づくり体験風景

写真 31 御前崎市大産業まつり「原始工房 縄文屋」ブース

3 桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレットの作成

静岡県指定名勝「桜ヶ池」や平成28年度に新たに指定された市指定有形文化財「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」をはじめ、県指定無形民俗文化財「桜ヶ池のお櫃納め」、市指定有形文化財「池宮神社本殿」などの県指定や市指定の文化財が数多くある。これらの池宮神社にある指定文化財や伝説等を紹介するチラシを5,000部作成し、池宮神社や市内の公共施設等に配架した。



第20図 桜ヶ池・池宮神社の位置 (1/25,000)



池宮神社境内に掲げられている扁額は「慶喜の落款が押されて江戸幕府第十五代将軍であった徳川慶喜公が明治元年の1868年(慶応4年5月30日)に社号「池宮神社」を拝啓奉納したと伝えられています。

この扁額には、四隅の留め金とそれとは別に上部にも3個ずつ、左右に1個ずつの円形の飾り金具がめしられています。その内、上下の中央と左右の中央には、徳川家の家紋である「三つ葉葵」の紋様が表現され、その他の4つの角には、池宮神社の宮司(先皇家の家紋)三つ葉葵が表現されています。

またこの扁額は、徳川慶喜公の自筆との鑑定結果が出ています。

静岡県指定無形民俗文化財 お櫃納め

桜ヶ池は標高40メートルの小高い山の上にあり、三方を囲む原生林の深い森をその背景とした水を蓄えています。約6千年前、江戸谷の谷が砂に沈み止まった池です。

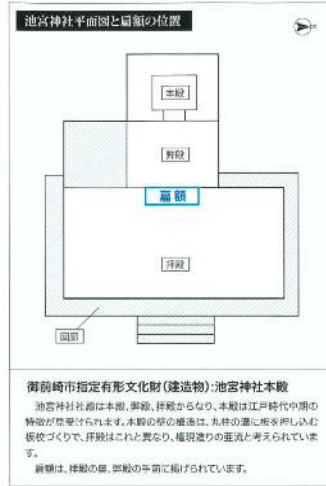
桜ヶ池に建立された池宮神社では、毎年龍神に捧げる神事が行われます。

前分の日(午後6時から翌朝まで)は、新しく出来る年のお払いと、龍運を祈願され、本物の龍運が放たれます。この神事は、近年になっても新たに行われるようになったものです。

また9月、秋の彼岸の中(日)は、お櫃納めが行われます。由来の方法で、炊かれた赤飯が入ったお櫃を池の中央に沈め、五穀豊穡と心願成就を祈願します。龍神氏により行われ、心身を清めた数千人の若者や池の中央にお櫃を沈めるこの神事は、全国的にも珍しい民俗行事として、静岡県指定の無形民俗文化財となっています。

山内阿闍梨が龍神に姿を変えて桜ヶ池の底深くに潜り込ませる

静岡県指定無形民俗文化財 桜ヶ池のお櫃納め



名僧山内阿闍梨入池の伝承 龍神伝説

桜ヶ池の龍神伝説は、平安時代末期に遡ります。今から約650年前、1069年(治承19年)に比叡山の名僧・山内阿闍梨が、66歳77万歳後に出現されるという弥勒菩薩に授けを乞うたい心から、弥勒菩薩の下生を持つために長命を望みました。それは大氣龍になるしかないと考え、桜ヶ池に身を沈め龍神となったと伝えられています。

弥勒菩薩の下生に関する話には、ちょうど11世紀頃に弥勒菩薩信仰が盛んになったとされており、その影響もあって、山内阿闍梨の桜ヶ池入池が伝承となったと考えられています。

また、この話の始まりとして、当時比叡山に身を置いていた山内阿闍梨は子たちを養った大蛇(龍)に化身为すための龍池を探すように命じました。その弟子・東江を探していた法師上人が、東江のこの桜ヶ池をの池として見つけたと伝えられています。そして東江園に入った法師上人は弥勒菩薩のお告げを聞き、桜ヶ池にたどり着き、3日間断食とお経を唱え、その後池の水を飲み取り比叡山に戻りました。

山内阿闍梨は手のひらに池の水を入れ命を授け、その後池の水を体を含ませ龍身に化身为して、はるか東方に飛び立ちたとされています。

東海道名所図説に描かれた龍神伝説「龍身化した山内阿闍梨と回答する弟子の法師上人」

写真 32 桜ヶ池・池宮神社の指定文化財パンフレット(内面)

4 御前崎市内の指定文化財の神社めぐりの開催

御前崎市には、本殿が市指定有形文化財建造物になっている神社が 6 箇所(高松神社、岩地正八幡神社、池宮神社、賀茂神社、駒形神社、白羽神社)ある。この中には、鎮守の森(社叢)が指定天然記念物になっている賀茂神社や、徳川慶喜揮毫(きごう)の扁額(へんがく)が新たに指定された池宮神社など、特色のある神社もある。これら御前崎市内の指定文化財がある各神社を、社会教育課職員引率のもと、参加を希望した市民 30 名が大型バスで各神社をめぐり、宮司等の関係者や伝統建築の専門家である建部恭宣氏の説明を聞きながら見学した。



1 岩地正八幡神社の見学風景



2 高松神社の見学風景



3 池宮神社の見学風景



4 賀茂神社の見学風景



5 駒形神社の見学風景



6 白羽神社の見学風景

5 写真資料の利用

(1) 株式会社 SBS プロモーションの写真資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○鈴木東洋氏関連の写真資料	3点	静岡新聞発行の遠州暮らしマガジン「えんまる」の偉人紹介ページにおいて、鈴木東洋先生と新野左馬助公展示館の紹介のために利用	平成 29 年 5 月 1 日
○新野左馬助公展示館内部の案内写真	4点		

(2) 一般財団法人 いも類振興会の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○左馬武神社写真	1点	シニアクラブ静岡県 静岡県シニアクラブだより 7月号に掲載	平成 29 年 5 月 8 日

(3) 個人の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○紅雲寺の薬師如来立像・日光菩薩立像・月光菩薩立像写真	1点	紅雲寺に設置する紅雲寺の説明看板に利用	平成 29 年 6 月 26 日

(4) 中部電力株式会社広報部社内コミュニケーショングループの写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○用地交渉委員会写真 ○講演会写真 ○浜岡原子力発電所 1号機起工式写真	1点 1点 1点	中部電力株式会社社内用「Human Energy」10月号(10月20日発行)の浜岡原子力発電所旧浜岡町建設受入から50年に掲載	平成 29 年 10 月 5 日
○用地交渉委員会写真 ○講演会写真 ○浜岡原子力発電所 1号機起工式写真 ○新原子力館が完成	1点 1点 1点 1点	中部電力株式会社情報誌「場」Vol.27(12月1日発行)の浜岡原子力発電所ヒストリーに掲載	平成 29 年 11 月 14 日
○浜岡原子力発電所 1号機起工式写真	1点	静岡放送の『エネばな』「浜岡原子力発電所のなりたち」で放送予定(平成 30 年 3 月 25 日)	平成 30 年 2 月 9 日

(5) 中日新聞島田通信局の写真利用資料一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
丸尾文六(47歳)の写真	1点	明治 150 年記念に合わせて特集記事に掲載	平成 30 年 2 月 9 日

6 歴史民俗資料等の特別利用

(1) 個人の特別利用資料一覧

歴史民俗資料名	点数	利用目的	利用区分	利用日
○丸尾組川越人足 33 名の名簿	1点	講演会での利用	調査研究	平成29年7月18日
○丸尾文六茶園之真景	1点			
○英国議事院談 二十 五号	1点			
○西国立志編 自助論 第三冊	1点			
○憲法類編 第二	1点			

(2) 静岡第一テレビ報道部アナウンス室の特別利用資料一覧

歴史民俗資料名	点数	利用目的	利用区分	利用日
松林家の元治元年十月 の讃州鮑与嶋仲屋卯平 船破船関係の古文書の コピー	3点	坂出市史編さんのため	調査研究	平成30年2月20日

7 歴史民俗資料等の貸出し

(1) 御前崎市立浜岡北小学校への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	御前崎市教育委員会	平成29年4月21日～ 平成29年4月28日
旧朝比奈小学校の青い目の人形	1点	御前崎市教育委員会	平成30年3月16日～ 平成30年3月22日

(2) 個人への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
浜岡人物誌「朝比奈・新野編」(複写)	1点	御前崎市教育委員会	平成29年9月25日～ 平成29年9月27日
	2点		
	1点		

(3) 水神公園どんどんの会への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
○農業用扇風機	1点	御前崎市教育委員会	平成29年12月4日～ 平成29年12月27日
○足踏式脱穀機	1点		
○唐箕	1点		
○千歯扱き	1点		
○唐臼	1点		

(4) 中部電力株式会社浜岡原子力発電所『浜岡原子力館郷土展示ホール』貸出資料一覧

貸出資料名	点数	出土地及び使用地	貸出期間
陶器(四耳壺)	1点	比木殿ノ山	平成29年4月1日～平成30年3月31日
須恵器(長頸壺)	1点	石田横穴群	平成29年4月1日～平成30年3月31日
須恵器(平瓶)	1点	実際寺横穴群	平成29年4月1日～平成30年3月31日
風呂鍬	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
麦蒔き機	1点	合戸	平成29年4月1日～平成30年3月31日
水田除草機	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
唐箕	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
背負子	1点	新野	平成29年4月1日～平成30年3月31日
蓑	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
菅笠	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
藁草履	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
消防用手押消火ポンプ	1点	佐倉	平成29年4月1日～平成30年3月31日
竜吐水師	1点	佐倉	平成29年4月1日～平成30年3月31日
消防団法被	1点	佐倉	平成29年4月1日～平成30年3月31日
纏	1点	佐倉	平成29年4月1日～平成30年3月31日
ランプ	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
電話機	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
蓄音機	1点		平成29年4月1日～平成30年3月31日
合計	18点		

IV 指定文化財一覧表

1 国指定文化財

No.	種 別	名 称	所在地	所 有 者	指定年月日
1	天然記念物	白羽の風蝕礫産地	白羽6852-1他	御前崎市 他	S18. 8. 24
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	御前崎海岸	国	S55. 3. 6

2 県指定文化財

No.	種 別	名 称	所在地	所 有 者	指定年月日	指 定 番 号
1	名勝	桜ヶ池	佐倉5162	池宮神社	S29. 1. 30	第34号
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	御前崎4434	海福寺	S31. 10. 17	第118号
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお櫃納め	佐倉5162	お櫃納め保存会	S61. 12. 5	第538号
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	比木2815	賀茂神社	H 9. 3. 17	第599号

3 市指定文化財

No.	種 別	名 称	所在地	所 有 者	指定年月日	指 定 番 号
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽3511	白羽神社	S44. 6. 25	第1号
2	建造物	駒形神社本殿(入母屋造)	御前崎937-1	駒形神社	S44. 6. 25	第2号
3	史跡	星の糞遺跡(823㎡)	白羽2179-1他2筆	加藤英男他2名	S44. 6. 25	第3号
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽3511	白羽神社	S45. 10. 15	第4号
5	彫刻	地藏菩薩尊像(青銅製立像1軀)	白羽3105-1	増船寺	S45. 10. 15	第5号
6	天然記念物	いちょうの木(1本)	御前崎4434	海福寺	S48. 10. 18	第6号
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	白羽963	紅雲寺	S49. 9. 19	第7号
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	御前崎4434	海福寺	S49. 9. 19	第8号
9	古文書	中山家文書(39通)	門屋	中山貞雄	S52. 2. 28	第9号
10	古文書	本間家文書(15通)	池新田5560	本間 周	S52. 2. 28	第10号
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	宮内1047-18	山本雅己	S53. 9. 4	第11号
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	下朝比奈1739	旧妙音庵薬師堂 保存会	S62. 10. 28	第12号
13	建造物	池宮神社本殿	佐倉5162	池宮神社	H 2. 5. 17	第13号
14	天然記念物	イスノキ群生林(十数本)	白羽	滝 朝夫	H 3. 11. 20	第14号
15	絵画	千羽の鶴(1点)	御前崎937-1	駒形神社	H 6. 1. 31	第16号
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽3511	白羽神社	H 6. 1. 31	第17号
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像 (立像1軀・座像1軀)	上朝比奈1030-2	玄翁堂の木造十一 面観音菩薩保存会	H10. 3. 27	第18号
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	下朝比奈605	大日寺大日如来 保存会	H10. 3. 27	第19号
19	古文書	水野家文書(1通)	池新田5560	水野信幸	H10. 3. 27	第20号
20	歴史資料	御用提灯と収納箱(4点)	池新田5560	御前崎市	H11. 12. 1	第21号
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造三十三観音像)	御前崎5067-1	増船寺	H17. 1. 1	第22号
22	建造物	高松神社本殿(入母屋造)	門屋2068	高松神社	H19. 9. 25	第23号
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附:マーベル・ワレンの切符)	池新田5560	御前崎市教育委員会	H20. 12. 19 附:H26. 5. 26	第24号
24	彫刻	岩地正八幡神社神像	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社 保存会	H27. 12. 25	第25号
25	建造物	岩地正八幡神社本殿	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社 保存会	H27. 12. 25	第26号
26	書跡	徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額	佐倉5162	池宮神社	H28. 11. 25	第27号

V 文化財関係刊行図書一覧

1 旧御前崎町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和45年度	『郷土のかおり一年中行事と習俗』	平成13年度	『おまえぎきの文化財』
昭和61年度	『ふるさとの岬』	—	アカウミガメ上陸・産卵・孵化状況報告書
平成8年度	静岡県御前崎町『星の糞遺跡発掘調査報告書』		

2 旧浜岡町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和60年度	『石田・蓮前支群発掘調査報告書』	平成11年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅰ』
昭和63年度	『門屋横穴群石田2号横穴・新井平横穴群発掘調査報告書』	平成11年度	『目で見る 浜岡の文化財』
昭和63年度	『浜岡町文化財』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第7集『比木城山遺跡』
平成8年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第4集『中尾殿之谷横穴群』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第8集『南谷遺跡 遺物編Ⅰ(木製品図版編)』
平成9年度	『郷土の歴史と沿革 浜岡人物誌 池新田・高松編』	平成12年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅱ』
平成9年度	『静岡県指定天然記念物 比木賀茂神社社叢 比木自然公園自然生態系基本調査報告書』	平成13年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集『南谷遺跡 遺物編Ⅱ(木製品本文・石器・骨角製品)』
平成9年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第5集『南谷横穴群』	平成13年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅲ』
平成10年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第6集『山田遺跡』	平成14年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第10集『南谷遺跡 遺構編』
平成10年度	浜岡町佐倉地区民俗調査報告書『桜ヶ池のお櫃納め』と佐倉の民俗』	平成15年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第11集『南谷遺跡 遺物編Ⅲ(土器・土製品)』

3 御前崎町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成2年度	『御前崎町史 資料編』	平成4年度	『御前崎町史 写真集』
平成2年度	『御前崎町史 資料編(近世一)』	平成8年度	『御前崎町史(通史編)』

4 浜岡町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和50年度	『浜岡町史』	平成15年度	『桜井家(旧比木村川崎谷)文書』—近世—
平成12年度	『浜岡町所在文書目録 第1集』	平成16年度	浜岡町史別冊四『証言集 町民が語る近現代の歩み』
平成12年度	浜岡町史別冊一『萩原佐吉 茶業見聞録・新道開墾日記』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(考古)』
平成13年度	浜岡町史別冊二『佐倉村誌・朝比奈村郷土誌』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(古代・中世)』
平成14年度	浜岡町史別冊三『新野村誌・池新田村誌』	平成17年度	浜岡町史別冊五『中世埋蔵銭と古墳時代の横穴・古墳』
平成15年度	『風紋—浜岡町・閉町記念写真集一』	平成22年度	『浜岡町史 通史編』
平成15年度	『浜岡町史 民俗編』		

5 御前崎市文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成16年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第1集『比木城山遺跡Ⅱ』	平成21年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第3集『山田ヶ谷北横穴群』
平成16年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅰ』平成16年度版	平成22年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅵ』平成21年度版
平成17年度	御前崎市文化財講座企画展第1弾『新野川流域の文化財』	平成23年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅶ』平成22年度版
平成17年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅱ』平成17年度版	平成24年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅷ』平成23年度版
平成18年度	御前崎市文化財講座企画展第2弾『朝比奈川流域と池新田の文化財』	平成25年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅸ』平成24年度版
平成18年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第2集『勝差墳墓群』	平成25年度	御前崎市の指定文化財
平成19年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅲ』平成18年度版	平成26年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅹ』平成25年度版
平成19年度	御前崎市文化財講座企画展第3弾『箴川流域の文化財』	平成26年度	御前崎指定史跡『薩田ヶ谷横穴群』パンフレット
平成20年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅳ』平成19年度版	平成27年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅪⅠ』平成26年度版
平成20年度	御前崎市文化財講座企画展第4弾『大原川・中西川流域と御前崎の文化財』	平成28年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅪⅡ』平成27年度版
平成21年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅴ』平成20年度版		

静岡県御前崎市
文化財年報XIV

令和元年 5月 24日

編集 静岡県御前崎市教育委員会
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585
TEL 0537-29-8735
FAX 0537-29-8737